

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
1	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	鳥獣被害対策について	シカやタヌキによる農作物被害がひどい。網などで防護しているが破られる。自家用ならまだしも、生業としている人たちは甚大な被害である。市の対策はどのように進めているのか。	有害獣対策として、平成26年度当初予算の126万円に加え、9月補正で210万円を増額補正した。
2	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	鳥獣被害の状況について	市内でシカの被害はどれくらいか。	品目ごとの被害面積で集計しており、水稻が5.9ha、果樹が13haなど。ただ、被害にあった農地全体で計算するので面積は定かでないというのが実態。 シカの被害、クマの目撃情報とも確実に増えている。 ハクビシンの罠は農村林務課と総合支所合わせて19基あり、1か月間を上限として貸出ししている。 コミュニティで独自に購入した地区(浮田)もある。
3	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	シカの駆除について	シカはどのような方法で駆除するのか。 シカは夜行性なので銃では無理ではないか。遠野では罠をしかけて捕獲していると聞いたが、花巻ではその方法は考えないか。	遠野市の事例は、罠を実施隊が設置し、住民が見回りし、かかっていたら実施隊に連絡し補殺する方法である。 実施隊と住民が連携し効果を上げている事例であり検討している。
4	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	電気柵設置の補助について	地元の中山間で補助を出して電気柵を設置したことがあるが、500mで16万円かった。市の予算126万円では全然足りないのではないか。	有害獣対策として、平成26年度当初予算の126万円に加え、9月補正で210万円を増額補正した。
5	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	電気柵や罠の広報について	電気柵設置の補助やハクビシンの罠貸出しについては、広報紙にも載っているのか。見たことがないが・・・。	ハクビシンの「ワナ」の貸し出しは広報紙等で周知している。 新年度は、出前講座等を開催するので支所や農村林務課に相談願いたい。
6	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	こども課	上瀬保育園の移転新築について	上瀬保育園は建築後かなり経過していて古く、土地は個人から借りている土地である。旧谷内小学校跡地に移転して新築してほしい。 子どもが少なくなるから統合するということでは地域の人たちは納得しない。小学校も東和小学校に統合してから、地域と子どもたちとの関わりが少ない。数合わせだけでは考えてほしくない。 地域の子どもたちは地域のみんなで守っていききたいという気持ちがある。 制度やニーズだけでは納得しない。	子ども・子育て支援事業計画を策定した。市内4地区の今後5年間の保育利用量と確保量の見込みにあわせ、市全体においての保育園のあり方について検討していく。
7	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	東和総合支所地域振興課	市道館迫谷内線の補修について	館迫谷内線はデコボコがあったり側溝がなかったり、ガードレールが意味のないところにあったりする。総合支所の維持管理だけでは限界なのではないか。 国体の開催で、全国から田瀬のボート場を訪れる人が増えるので、これに合わせて整備してほしい。	9月末にガードレールは設置済み。
8	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	消防本部警防課	ドクターヘリのヘリポートの管理について	千田精密の土地がヘリポートになっているようだが、舗装されておらず草むらになっている。ストレッチャーが動かせないので平らにしたほうがいいのではないか。	東和地域には9カ所のランデブーポイント(RP)があり、砂利地や草地、砂地等様々な条件となっている。着陸できるかできないかは機長の判断による。RPより現場により近い空地があり着陸できると機長が判断すれば、RP以外の場所に着陸するので、改めてRP所有者が維持管理することにはなっていない。また、ストレッチャー使用不可の場合には、徒手搬送を行う。
9	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	松くい虫被害について	晴山は松茸の宝庫だが、松くい虫のおかげで危うくなっている。遠野では枯木を発見すればすぐに伐採するようだが、東和の場合は手遅れになっている。この状況を知っておいてほしい。	市で9千万円の予算措置をしているが全部切るのには間に合わないの で、完全に枯れたものでなく、少し枯れ始めた木を重点的に切っている。 実際に切る人が不足している問題がある。 岩手県は特にひどく、今抑えないとどんどん北上することは国でも認識しているようだ。国にも予算措置を要望していく。
10	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農村林務課	ニホンジカの駆除について	冬期間に足跡をみて銃で駆除するのがいい。勢子で追い出して打てば駆除できるのでやってみてほしい。	この冬、実施隊が大迫地域で追い込みの駆除を実施し、効果を上げたことから今後も継続したい。
11	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	文化財課	丹内山神社関連文化財の補修について	神社の境内一帯が市の指定文化財になっており、緊急に修理しなければならぬ箇所がある。(本殿前の山門、観音堂の屋根、鳥居2カ所) 補助を活用しながら計画的に直していきたいので、何か制度を見つけて情報提供していただきたい。	・丹内山神社の、相殿と山門屋根修理については、成26年8月21日付、花巻市指定文化財修理費補助金交付申請の提出がありましたので、花巻市補助金等交付規則により、修理費の1/2(275,000円)を補助しました。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
12	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	こども課	保育園の職員体制について	地元の子どもたちは町場に集中させることなく地元で育てたいと思っている。 どの保育園も、臨時保育士を探すのに毎年苦労しているようだが、正職員の割合が少なすぎないか。未来を担う子どもたちを育てていく体制を しっかり整えてほしい。	保育士不足の状況は変わっておらず、来年度の新制度施行にともなっ てさらに需要は高まっている。市では潜在保育士の掘り起しのために、こ れまで広報やFMラジオ、ホームページ上で募集を呼びかけたり、賃金 改善を行ったり、正職員の採用をしてきている。8月に県内の保育士養成 専門学校を訪問し、来年度の就職状況の情報収集と花巻市への就職の お願いをするなど保育士の人材確保について努力をしているところで す。
13	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	長寿福祉課	介護施設の整備について	仕事をやめて家族を介護している人がいるが、介護者の交流会などが あっても代わりに介護してくれる人がいないので家を留守にできず孤立 してしまう。 特別養護老人ホームを整備することが望ましいが、高齢化が進む中で、 市ではどのように対策を考えているのか。	特別養護老人ホームの整備については、入所待機者の解消を図るた め、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする第6期介護保険事 業計画において、85床分の増床を計画したところであります。 また、居宅サービスについては、ショートステイやデイサービスは十分 に利用可能な状況となっていますが、家族の介護負担の軽減の観点か ら必要なサービスが利用できるよう制度の周知を図るため、4月から振 興センターごとに説明会を行います。
14	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	農政課	TPP対応について	TPP参加への反対は理解するが、全面的に否定するのではなく、妥結し た時の対応を考えておいてほしい。	国に対し東北市長会等を通じて、関係諸国に対し毅然たる対応を堅持す ること、国民に対する積極的な情報提供と明確な説明を行うこと、国益を 損なうことのないよう慎重に対応することなどを要望している。
15	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内		アマゾンの会社運営について	アマゾンネット販売の送料が無料である。日本国として正しい会社運 営なのか、法人税は日本に納めていないようだ。 我々の農産物の配送に影響が出ないか懸念している。	意見としてお聞きします。
16	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	商工労政課	北上市内での雇用による影響 について	北上市に家庭用品の大きな配送センターとセブン＆アイ・ホールディン グスの加工施設および関連施設ができるということで、パートタイマーの争 奪戦になる。 自分のところは時給700～800円で雇っているが、今後時給1,000円の ところが出てくれば、企業を誘致するだけの考えだけで地域の第一次産業 が機械化し、米作りだけになるのかもしれないという危惧をしている。 市としても検討して、地域の農業ができるように協力をお願いする。	北上市に時給1,000円で雇用する企業が来たとしても、それで花巻市民 が豊かになるのであれば、反対しにくい。北上が発展して花巻市民も豊 かになるのであれば、花巻にとってもいいことなので協力したいと思う。
17	H26.6.24	市政懇談会 (H26)	谷内	商工労政課 農政課	海外研修生の受け入れにつ いて	海外研修生の受け入れを市でも支援してほしい。	人が足りなくなったときに外国人を雇用することもあると思うが、違う人 種、違う価値観の人たちを受け入れることが本当に皆さんが求める世の 中か考える必要がある。
18	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	石鳥谷駅前及び商店街活性 化について	今日までの石鳥谷町商店街活性化について、どのような政策を施してき たのか伺いたい。そしてその成果はどのように評価しているのか併せて 伺いたい。 また、他地区における政策はどのようなことを行ってきたのかも伺いた い。今後は商店街活性化について、どのような型の商店街作りを目指し ていくのか、そのための政策はどのように施していこうとしているのか。	石鳥谷に限らずそれぞれの地域の商店街の人たちとの顔づくり事業、商 店街が企画している各種イベントの支援や空き店舗対策を全市地域で 展開してきた。石鳥谷については、顔づくり交付金を活用して事業を展開 している。酒蔵交流館を中心とした酒蔵まつり、映画祭、花北青雲高校 チャレンジショップ等のイベント開催、中央通商店街振興会で小さな百貨 店事業を、となりではシルバー人材センターによる高齢者技能活用事業 を実施し、2店舗並んで展開している。空き店舗対策では、石鳥谷地域で 4件新規に出店いただいた。家賃・改装等で補助している。また、国の補 助制度を活用しにぎわいづくり事業を展開しているが、中央通商店街振 興会と向町商店街振興会が連携し進めており、市が支援している。 市がどのように評価しているかということであるが、それぞれの商店街の 状況が違う。石鳥谷は生活空間としての商店街の趣が残っている。N-1 など注目度の高い事業や、チャレンジショップで若い人を取り込む事業を 組み入れていただいており、その企画力・着眼点はすばらしいと思ってい る。 これからの方向性については、生活空間としての商店街が大事であり、 魅力を創出して外からもきてもらう。企画を支援するスタンスは生かしつ つ、商店街・住民等と腹を割って話し合っていく。議論することで新たな切 り口が生まれるのではないかと考えている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
19	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	空き地の活用について	①中央通商店街と向町商店街で事業を進めているということだが、住民には見えてこない。 ②空き地が結構ある。酒屋(宝峰)跡地が広大な空き地となっている。もったいない。 ③大型スーパーが3箇所ある。郊外にあるので不便だ。好地地区は高齢者が多く、買い物に行くのが大変だ。街中の空間、宝峰跡地に、市のほうで移転させたり、周辺部のスーパーを中に持ってこれないか。そうすれば人の流れが外ではなく、内側に向かってくるのではないか。	空き空間はもったいないと思う。何とかできないかと考えている。市がどこまでできるかわからないが、全体的な構想を考えていく。限られた予算だが考えたい。旧花巻の中心部について国の制度を活用できないか、考えている状況である。旧3町については独自の予算で長期的に考えなければならぬ。宝峰の跡地、製材所(マルカ藤原)跡地等、活用を皆さんで考えていく。企業戦略もあるだろうから、スーパーを中に持ってくるのは難しいと思う。 国の制度というのは具体的には、イルミネーションで街並みを装飾する事業とか、街コンを展開し、街中で出会いの場を提供している。地酒を組み入れて、若者を街中に呼び込むような方策を採るなど工夫している。
20	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	商工労政課	空き地の活用について(書店)	石鳥谷に本屋がない。中高生等は参考書を買うために盛岡等に行く。大変不便である。駅前に空き地があるというのなら、ぜひ本屋を開いてほしい。	花巻中心市街地にも書店がない。書店を取り巻く環境はあるとしても、市の土地の利用策と、民間の投資を促すような橋渡しをして関心を促す。不足する業種を商店街として呼び込む、テナントミクスなどを活用しながら、今すぐとはいかないが、努力していく。
21	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	観光課	ふれあい運動公園での出店について	ソフトボールでふれあい運動公園を利用する盛岡の友人に、商店街から出向いて商売する発想はないのかと聞かれた。公共の場で商売するのは規制があってできないのか。 (現状は、わざわざ商店街には行かず、近場のスーパー(ジョイス)で昼食を購入しているとのこと)	スポーツ大会開催のスケジュールは(一社)花巻観光協会にも伝えており、大会を開催する事務局の意向を踏まえて、可能な限り物産店舗の開設を行う体制にしている。
22	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き家対策について	昨年4月に「管理不十分な空き家」の調査結果が公表された。調査件数は338件でそのうち42件が「建物や環境が著しく不良で、緊急的対応の必要性が高いもの」と評価されている。その42件についてどのように対応しているのか伺いたい。 当町江曾地区国道4号沿線にトタン屋根が捲れているところがあるが、危険極まりない状況かと思われる。どのように評価し、どのように対処しているのか伺いたい。 好地地区にも、「管理不十分な空き家」が何箇所あるのか、その対応を伺いたい。	各行政区長からご報告を頂いた市内全域の374件の空き家について、基礎、柱、外壁、屋根等の腐朽程度や破損程度等について外観調査を実施した結果、倒壊の危険や衛生上問題があると確認されたものが53件ありましたので、所有者に対して、文書や口頭において適正な管理をお願いしたところ、現在までに10件が除却され、1件が除却に向けての準備が行われているところです。(江曾地区国道4号沿線の空き家については、平成26年9月に解体されました。) また、平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。 なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
23	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き家の処分について	好地4区地内にも空き家があり、問題がある空き家である。相続人がいない。国庫に帰属した。国の立法を待っているのではなく、花巻独自でやっていいのではないか。通学に支障をきたし、雪害、放火等の危険が予測される。買取等は自治体として何かやってもいいのでは？国庫に帰属した場合の方法について教えてほしい。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
24	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	都市政策課	空き地の管理について	マルカ藤原(製材所)跡地がある。風が吹けば、トタンが飛んでくる。管理者に連絡すると、「なんとかする。」と回答あるが、何もしない。市のほうで連絡等お願いしたい。	現在、飛散防止のため道路側にネットを配置し、解体作業を行っています。進捗状況は、事務所の解体は終了し、工場についても半分は解体済みとなっています。今後も飛散状況等を定期的に確認し、周辺環境に悪影響を及ぼしている場合は、管理者に連絡します。
25	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	自治公民館の新築及び修繕の補助について	好地地区には現在10箇所ほどの自治公民館があるが、いずれも老朽化や疲弊により本来の使用に耐えられないものばかりで、中には廃バスを利用しているところもある。市では、1件30万円を超える工事にかかる工事費の3分の1の補助制度があるが、地区には資金がないので、大幅な資金援助を希望したい。自治公民館の果たす役割は大変大きく、地区の活性化にもつながるので、考慮をお願いしたい。	それぞれの地域により実情が異なることは認識しているが、補助率や限度額の見直しを直ちに行うことは厳しいものと考えている。県内各市の状況などを調査し、検討していくことも必要であると考えている。
26	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	公民館新築にかかる国の制度の拡充について	公民館新築に関して、国のほうへの進言をお願いしたい。	自治公民館建設にかかる国庫補助制度は無いものと認識している。「宝くじ助成」などの助成金・交付金の制度はあるものの、採択される件数が少ないという状況がある。省庁にかかわらず、調査をしたが、補助制度は確認できなかった。
27	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	地域づくり課	行政区の見直しについて	好地19区は国道4号をはさんで東西に2つのブロックがある。東日本大震災の際、東西の連絡がうまくできなかった実態があるので、行政区の区割り・班割を一度検討願いたい。	行政区の分割・再編については、住民の合意が一番重要と思われるので、行政区長等から状況をうかがう。
28	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	農村林務課	ふれあい運動公園に隣接する「森林公園」の整備について	ふれあい運動公園には日陰がない。西側に森林公園を整備してほしい。癒しの場としてもいいと思う。魅力的な地域づくりをしていただきたいと思う。	確かにふれあい運動公園には日陰がない。休む場所がないのはそのとおりである。どれだけのことができるのかわからないが、長い計画で考えていく。
29	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	地域づくり課 教育企画課 こども課	洋式トイレへの改修について	先日、ラットランドの研修生が石鳥谷国際交流センターにきて交流したが、洋式トイレが少なく、トイレの順番待ちで休憩時間を費やしてしまったようだ。今の時代は子どもたちも和式トイレの使い方を知らず、洋式トイレが普通だと思うので、学校なども洋式トイレの増設または改修をお願いしたい。	振興センターについては、老朽化している施設も多いことから、長寿化を踏まえた整備計画を作らなければならないと考えている。緊急的なものについては随時対応していくが、トイレの洋式化については整備計画の中で検討をしてまいりたい。小中学校は、平成23年度から順次、トイレの様式化を進めており、平成26年度で完了する。公立幼稚園育園は、各園1箇所以上洋式トイレを設置済み。
30	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	国体推進課	アイスアリーナの改修について	今年度、アイスアリーナを改修し、2月頃までかかると聞いた。また、それを聞いたのが、3月末の閉館日であり非常にびっくりした。もっと事前に教えてほしかった。町内には、アイスホッケーとフィギアスケートのスポ少があり、大会もあることから12月、1月まで利用できないというのは非常に困る。出来るだけ早く利用できるようにして欲しい。	平成26年12月21日に今季の利用を開始した。(完了)

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
31	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	好地	生涯学習交流課	ラットランド市との姉妹都市提携30周年記念事業について	ラットランド市との姉妹都市提携30周年を再来年迎える。ほかと同様かそれ以上に予算をかけてほしい。充実した交流を続けていきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。	平成27年3月にラットランド市長が再選され、当市市長からお祝い状をお送りし、来年の30周年記念についても触れたところである。今後、ラットランド市関係者と連絡を密に取りながら平成28年度に予定している記念行事の調整を図っていくこととする。
32	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	生涯学習交流課 こども課	花巻図書館および子どもの城を旧厚生病院跡地に建設することについて	中央地区振興協議会では交流人口の活性化を図る目的で、旧厚生病院跡地を「まちの駅」にするということで要望してきたが、図書館とこどもの城というプランが出てきて、活性化のためには、図書館でもこどもの城でも最低限いいのかなということで歓迎した。しかし、この間市長と懇談した時に「こどもの城と図書館は、面積的に不可能だ」という話を聞いた。最低限図書館だけでもいいので、補助金等を活用し、旧厚生病院を「まちの駅」として確保しながら大きなまちづくりをしていただきたい。	こどもの城や500人規模のホールとの複合施設とすることの解消のほか、建設場所や規模なども見直しを行ったことから、関係団体や市民の皆様のご意見を十分に伺いながら、場所や規模などについて検討を進めて行きたいと考えており、今後一定の時間を要するものと考えている。 都市再構築検討プロジェクトチームによるまちづくりと施設整備についての調査及び各関係機関からの意見聞き取りなど検討の結果、複合施設計画を見直し、こどもの城に集約するとしていたイーハトーブ養育センター、こども発達相談センターを単独施設として整備し、こどもセンターと風の子ひろばについては現在活動している生涯学園都市会館内において事業を継続する方向性とした。
33	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	道路課	中部病院の北上側のアクセス道路を整備することについて	中部病院のアクセス道路の花巻市分については完了したが、飯豊から先の北上側の整備はどうなっているか。	北上市にお聞きしたところ、今年度、花巻市側から工事着手し、平成32年度の完成予定とのことです。
34	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	空き家対策について	東町の区長をしており、地区内にある空き家で困っている。鳥の糞害などがひどい。行政、住民、オーナーが一体となってやれるよう空き家条例などで法制化したほうがいいと思う。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
35	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	道路課	市の対応について(側溝等修理)	昨年8月26日に、側溝等の修理依頼をしたが、いまだにやってない。毎月行って話しているが、話すたびに担当者が代わり、その時は「わかりました」となるのだが、情報共有されていないのかまったくやっていない。組織対応が全くなっていない。	【平成26年7月2日実施済】 ご要望頂いた側溝等の修理については、遅くなりましたが7月2日に実施しました。 修繕要望等の対応につきましては、現地調査のうえ、緊急度や危険度に応じた処理を行うよう努めてまいります。
36	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	地域づくり課	まん福の活用について	まん福について、市で購入し修繕等の整備をしたが、6月に構造上の問題があり暗礁に乗り上げたとの新聞報道を拝見した。この地区には公民館がない。間違いを正すのはいいが、使用できませんというのではなく、調査検討していただき、歴史的に価値のある施設を活用できるような方法を検討していただきたい。	まん福については、中心市街地の振興に資する民間活用ができるよう検討します。
37	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課 観光課	旧エセナ跡地の活用について	旧エセナの跡地について、2年前の花巻まつりのときに屋形山車を展示したことがあったが、屋形山車を常設にするなど何か観光の目玉があった方がいい。 この場所の利活用も含めて、中心市街地の活性化をお願いしたい。	旧エセナ跡地の活用については、民間等による集合賃貸住宅等の整備の候補地の一つとして検討します。
38	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	生涯学習交流課	図書館整備に若い人の意見を	高齢者になると頑固になり、先入観にとらわれがちになる。市役所は60歳以下の人しかいないのだから、市長が若い市職員の発想をリードして、図書館整備等をしていただきたい。	県内外の図書館の状況や、当市の図書館が目指すべき姿を踏まえた適正な規模となるよう検討を進めており、意見の反映については、幅広く市民の皆様意見を聞きながら進めていく。
39	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	健康づくり課	病院再編について	中部病院や岩手医大附属病院は救急医療であり、長期入院ができないとのことだが、そうであれば厚生病院の跡地について、花巻病院を移転させ温泉病院の機能を持ってくるとか、救急医療は中部病院や医大にまかせ、長期入院、リハビリ用の施設を花巻につくとか、総花的ではない、特色のある病院設置の方向性を考えてもいいのではないか。	平成27年2月に花巻市の地域医療ビジョンを策定しました。今後はこのビジョンに従って、効率的で質の高い医療供給体制の構築に向けて取り組んでまいります。
40	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	地域づくり課 秘書政策課	まん福、旧エセナの活用について	まん福と旧エセナについて一体となった活用を考えられないか。たとえば旧エセナを立体駐車場とし、まん福をギャラリー、レストランとして活用してみてもどうか。	エセナ跡地の活用については、民間等による集合賃貸住宅等の整備の候補地の一つとして、まん福については、中心市街地の振興に資する民間活用ができるよう、それぞれ検討します。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
41	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	城内大通り線の拡幅について	城内大通り線は、玉川旅館から花巻病院西側まで、と、花巻市職員第3駐車場から4号線までの間、歩道を整備するということだったが今年になってから説明がない。どうなっているのか。	中心市街地の再構築を検討する中で、城内大通り線についても再検討が必要でありますことから、都市計画決定の廃止は保留することとし、沿線の区長さん等には平成26年8月19日に説明しました。
42	H26.6.27	市政懇談会 (H26)	花巻中央	都市政策課	誠山房跡地の整備について	まちづくりのために誠山房跡地を何とかしなければと思い、会社を設立し、誠山房を購入しようと検討しているのだが、解体費に6千万円かかる。柱に亀裂が入るなど倒壊の危険があるので、至急、解体について市で検討してもらえないか。	誠山房跡地の活用については、民間等による集合賃貸住宅等の整備の候補地の一つとして検討します。
43	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	外川目グラウンド照明設備の増設について	外川目グラウンドに照明が完備されてから利用者も増加傾向にあるが、利用者から外野側が暗いとの声が多い。特にスポーツ少年団の利用が多いことから、利用者の安全性・利便性の向上のため、外野側へ照明設備2基の増設をお願いしたい。	現地を確認したが、市内の中学校と同程度の設備能力で、支障ないことから、現在のところ増設については考えていない。
44	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	外川目グラウンド照明使用料金について	外川目グラウンドの照明使用料は1時間当たり1,500円となっているが、料金が高いと感じる。	他の照明施設の使用料見直しの中で検討する。
45	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	防災危機管理課	コミュニティFMの難聴問題について	コミュニティFM難聴に対し、テレビ共同受信設備を利用した改善策を実施したとのことだが、詳しい説明をお願いしたい。まだ聞けない地区もあるので、全地区がFMを聞けるよう、早めの対応をお願いしたい。	FM難聴世帯について、個別に受信環境改善の相談に応じるとともに、平成27年度、新たにFMアンテナ等の設置について補助を行います。
46	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	農村林務課	有害駆除(鹿)対策について	近年、鹿による被害が増えているが、被害対策についてお聞きしたい。	有害獣対策として、平成26年度当初予算の126万円に加え、9月補正で210万円を増額補正した。
47	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	農村林務課	松くい虫の被害情報について	松くい虫被害が拡大しているが、現在の被害状況を教えてほしい。また、被害防止策をお聞きしたい。	松くい虫被害は市内全域で大きな広がり。旧花巻地域は、平成8年度から被害があり、相当駆除してきたが手におえない状況である。今年度も昨年度並みの9千万円ほど予算化している。それぐらいの金額をかけても被害の広がりには収まらない状況にあるが、予算の中でなんとか被害を食い止めたい。木を切る人員も限られており、被害の出始めたようなところを切るだけで精一杯の状況にあることをご理解いただきたい。
48	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	地域づくり課	振興センター職員とコミュニティ会議の連携の在り方について	振興センター職員とコミュニティ会議との仕事の連携の在り方について、考えをお聞きしたい。また、いずれは振興センター職員を引き上げる話を聞いていたが、どうなるのかお聞きしたい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたところである。
49	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	道路課	八木巻線の除雪について	冬期間、沢崎地区から八木巻地区にかけての圧雪箇所がアイスバーンになり、通行に支障があったので対応をお願いしたい。朝の除雪時間が遅くなったのが理由だと思うがどうか。	除雪については交通量の多い幹線道路から行っており、降雪量等により降雪時間が前後します。また、パトロールや区長、市民の皆様からの情報をもとに、アイスバーン等により通行に支障がある場合は、融雪剤や砂散布を行います。
50	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	スポーツ振興課	大迫体育館内のクライミング場の増設について	現在、大迫体育館にあるクライミング場は、1日20人の利用が限界であるが、40人程度が利用できるくらい増設してほしい。昨年の話では増設する話があったと思うが、現在の状況はどうなっているのか。当初は初心者用の設備であったが、国体も開催されるし、市外からの高校生の利用もあるので、競技用に増設をお願いしたい。	平成24年度に新設したばかりであり、今後の利用状況の推移から増設の必要性、費用対効果を検討するが、現在のところ増設の計画は無い。現在のところ、地元・関係者等からの要望も無い。
51	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	道路課	八木巻線の道路拡幅工事について	八木巻線の道路拡幅工事だが、当初は合併前に終わる話だったと思うが、今になっても沢崎地区側しか進んでいない。スクールバスも通るし、冬場はアイスバーンにもなるので車ですれ違うのが怖い。地主との問題で工事が進んでいないとの話もあるが、地元には全く説明がないのはなぜか。	沢崎側については、来年度完成する予定であり、旭の又側については、平成28年度に事業着手したいと考えております。なお、事業に着手する際は、事前に地元関係者の皆様に説明したうえで着工することとしております。峠の部分については、関係地権者が明らかになったことから、今後の事業の進め方について協議してまいります。
52	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	総務課	本庁と支所との情報共有について	様々な問題について支所に聞きに行くが、本庁でないと分からないといった事が多々ある。本庁と支所との情報共有を図ってほしい。	今年度より“連携強化のしくみ”を構築し、市民が求める情報の周知と事務改善を相互に図っていきます。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
53	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	大迫総合支所地域振興課 観光課	カントリープラザ跡地の利用について	大迫野球場の上にあるテニスコートを中学生が部活で利用してるが、外れにあるため父兄等の送迎が必要となる。女子生徒が夜の暗い道を歩いて街中まで来るのは危険だと思う。また、熊の目撃情報もあるので、カントリープラザ跡地にテニスコートを建設するのどうか。	「ぶどうの丘」全体の施設については、計画的に修繕等を行うことで魅力を高めていきたいと考えており、カントリープラザについては、平成28年度から整備することで検討している。
54	H26.6.30	市政懇談会 (H26)	外川目	資産税課	固定資産税について	40年近い建物を取り壊すことを検討していたが、税金を納めに窓口に行った際、建物を取り壊せばかえってお金がかかると言われたが本当か。	現在の制度では住宅を取り壊した場合、当該家屋の税額はゼロになるが、当該土地に対する住宅用地の軽減特例が無くなることから、土地の税額は上がります。なお、国では全国的な危険空家対策のため特例措置を見直しし、危険な空家に認められた場合は、取り壊しをしなくても軽減特例がなくなることとしております。
55	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	地域づくり課	市政懇談会の開催について	上田市市長は、毎月、総合支所での執務日を設けて住民の声を聴く取り組みを行っていると同っている。 今年度の市政懇談会は年1回の開催であるが、笹間地区でも市政懇談会を何回か開催していただけないか。	市政懇談会は、6月から11月にかけて27振興センター単位で、市長をはじめ市の関係部長等が出席し、各地区の課題や市に対する意見・提言をいただき懇談してきました。 H27年度も同様に27振興センター単位で市民の方々からの意見・提言等をいただき懇談会を開催していきます。
56	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	スポーツ振興課	県で建設予定の「多目的ドーム」を花巻へ誘致することについて	秋田の大館樹海ドームは近隣の市町村の陳情活動により完成した多目的ドームである。 県で建設予定のある多目的ドームを北上市などと連携して、冬でも土の上でスポーツやイベントができる多目的ドームを花巻に誘致してはどうか。	県は国体に向けた競技力強化などのため、県内初のドーム型施設を整備する計画だったが、東日本大震災の影響により、平成24年4月に国体を契機とした整備は中止としている。 今後、改めて計画された場合は、積極的な誘致に取り組む。
57	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	地域づくり課	コミュニティ会議の継続について	市長の選挙公約にコミュニティ会議を見直したいとあったが、どういう視点からなのか考え方をお伺いしたい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
58	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農村林務課	環境を守る会への交付金(農地・水)の有効活用について	毎年道路整備を進めていただいているが、未舗装の生活道路箇所が十数件残っている。 今年から始まった多面的機能支払交付金を道路整備に使えないか伺いたい。	今年度3地区から道路改良の要望があり、市道認定を外し、多面的機能支払交付金で道路整備できる体制とした。
59	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	教育企画課	笹間第二小学校の存続について	笹間第二小学校と笹間第一小学校の統合についての提案を受けて数年になる。地元では笹間第二小学校を存続させ、より良い教育の場にしていきたいと考えているが、市長の考えを伺いたい。	児童数や学級の状況、学校運営上生ずる長期的な課題を見通し、児童生徒の成長に望ましい学習環境がどうあればよいか、地域の方々からご意見を伺い、市の財政状況も考慮しながら、全市的に小中学校、幼稚園保育園のあり方について検討をする予定としている。 その結果等を踏まえ、笹間第二小学校の存続・統合について、PTAや地域の方々と改めて意見の交換を行いたい。
60	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	商工労政課	新しい工業団地の建設場所について	市長には新しい工業団地の構想があると伺っているが、北上の後藤野工業団地と連携した工業団地を笹間地区に建設するお考えはないか。	新工業団地等整備計画は平成26年度末に策定完了しますが、候補地の選定にあたり横志田地区は入っていません。 【平成27年3月末完了】
61	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農政課	「賢治の教え」というケイ酸質肥料の推奨について	市の花巻米産地確立対策で、ケイ酸質肥料の助成をしていただき感謝する。 ケイ酸質肥料が不足するといもち病などの病気にかかりやすい。特に「賢治の教え」というケイ酸質肥料の推奨を図っていただけないか。	花巻米産地確立支援事業の対象資材については、市内の認定方針作成者と協議し決定している。
62	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農政課	集落営農組織の法人格取得に対する支援について	農地中間管理機構を通して農地の貸し借りをすると協力金が出る制度が始まったが、利用権設定がない農地は対象外となっている。集落営農の任意組合は法人格を有しておらず、利用権設定ができない。 集落営農組織が法人格を持っていないと担い手の資格を失う恐れもあるので、法人格育成のための事業を立ち上げて支援していただけないか。	農地中間管理事業の実施をよび水とし、集落営農組織の法人化が進んでいる。平成26年度は6の集落型法人が立ち上がった。法人化については、農業振興協議会として集落型経営体研修会における研修や個別の税務相談を行うとともに、トータルアドバイザーを中心にそれぞれの集落組織に対し法人化に向けた支援を綿密に行っている。
63	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	道路課	「道の駅」の経過等について	西南地域振興協議会で要望している「道の駅」について、具体的な中身が見えないので、経過や今後の動きについてお伺いしたい。	西南地域振興協議会において、地域住民への「道の駅」に関するアンケート調査を実施し、この調査結果をもとに地域が望む道の駅の姿をご提案いただくこととうかがっており、提案を受けた段階で検討会を開催し、構想策定に向けた検討を行う。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
64	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農村林務課	日本型直接支払制度について	日本型直接支払制度は、担い手に土地が集約すると周辺の農地を維持することが難しいので、地域みんなで維持していこうという制度である。 具体的な金額もでており、笹間地区の概要面積に当てはめると、1億数千万円になるはずである。市から今年度の情報が伝達されないが、どう進められているのか。	26年度末に交付金の交付対象組織を対象にアンケート調査を実施し、その結果について各組織間で情報共有していきたい。 組織の中で議論を深め、地域の活動を尊重し推進してまいりたい。
65	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	市民税課	市民税の申告について	80代の高齢者が、市民税の申告をするために、まなび学園まで往復タクシーを使っていた。振興センターでも受付できないか。	まなび学園を会場に実施している申告相談は、専門業者への委託により会場内にパソコンやサーバーを設けて実施しています。仮に振興センターで申告相談を実施するためには、これらの設置経費が新たに発生するほか、会場移動による機器の破損やデータの漏えいなどのリスクもあり困難です。
66	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	農政課	管理水田(遊休農地)の解消について	花巻南温泉峡の7つの温泉には花巻温泉よりも県外観光客が多く訪れる。県道沿いに管理水田(遊休農地)が多く、解消が必要と考えている。所有者の意向を確認も必要である。地域崩壊の要因となることを心配している。	市としては、日本型直接支払制度の多面的機能支払交付金や中山間地域等支払交付金を活用して、集落の住民が一体となった遊休農地や耕作放棄地の発生防止のための保全管理の取り組みに対して支援を行っている。
67	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	スポーツ振興課	東京オリンピックにおけるクレイ射撃場の誘致について	国体開催に続き、花巻市は2020年東京オリンピックのクレイ射撃場の有力候補地になるかもしれない。	県は国体に向けた競技力強化などのため、県内初のドーム型施設を整備する計画だったが、東日本大震災の影響により、平成24年4月に国体を契機とした整備は中止としている。 今後、改めて計画された場合は、積極的な誘致に取り組む。
68	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	収納課	納税組合組織の仕組み検討について	納税組合は、かつて納税切符を各世帯に配り納税を促進してきたが、今はほとんどが銀行振込となっている。花巻市が納税組合に支払っているお金は970万円で市民の税金が出ている。本当に970万円が花巻市のためになっているのか。納税組合が本当に必要か考えていく必要がある。	納税貯蓄組合は、組合員等へ納期内納税や当月が納期となっている税目等の周知を行っております。そのため、組合員の納期内納付率は、非組合員と比べ高くなっております。 一方で、口座振替申込率がまだまだ低い状態であるため、更なる加入推進に取り組むこととしております。 それらの活動を支援するために、今後も適正な納税貯蓄組合補助金の執行に努めてまいります。
69	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	農政課	農地周辺の景観保全について	滝の沢から鉛にかけて車で走っていると一番きれいなところは大沢であり、沿道と田んぼのまわりが特にきれいだである。今年見たところ、去年そばを蒔いていたところが除草剤で真っ赤になっていてがっかりした。後で事情を聴きたい。自分たちでできることは、畦畔の草を刈り、きれいにしておけばそれでいいのかなと思っている。	意見としてお聞きします
70	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	天王橋改修について	志戸平の天王橋の改修工事はH25年12月4日に終わるはずが、伸びてH26年3月17日になったが、それでも終わらない。その後、完成とのことであったが、仕上がりに納得できず、市に出向き話を聞いてもらい、市長名で回答をいただいた。3,900万円もの大金をかけ、最高の塗料を使い、何をやっていたのか疑問でならない。また、H26年6月30日から仕事を始めると聞いていたが何もなし。もう少し緊張感を持って市の職員は仕事に取り組んでもらいたい。	【平成26年10月17日実施済】 補修箇所の塗装については、10月11日に終了し、10月17日に市で確認して完了しております。
71	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	道路要望について	湯口区長会では、個人が花巻市に道舗装工事を要望しても受け付けない。また、建設部長や市長から、湯口区民から道路舗装工事の要望があったと言われても、湯口区長会では受け付けないと役員会で決めたという。役員会の議事録はないと言われた。このような湯口区長会の言動は、建設部長であれ市長であれ愚弄しているものだと思う。このような湯口区長会の言動を今見て、市長は、地域の方に納得するような説明をどうするのか。	市長として、確かに決める権限があると思うが、どこを舗装するか分るかと言われたら分からない。要望は多いが、要望があったものがすべて実行できるわけではない。建設部では一定の基準があってその中で優先順位をつけてやっている。市長が湯口出身だからといって優先的にやるということは一切指示したことがないし、今後もない。 区長会でも個人でも、市長に直接言っても、建設部につなぐことはあるかもしれないが、やれということはない。 建設部に要望を持って行く時には、地区毎に決め方というものがあると思う。これを全員が一斉に言い始めると混乱と思うので、区長会では、湯口の中ではまとめてやろうじゃないかとの決め方をしていると思う。それを私は悪いとは思わないが、納得できなくて、個人の方が建設部にいった結果、建設部が独自に受理して実施するとことはゼロとは言えない。
72	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	信号機の設置要望	土地改良区をずっと上ると高速道路に突き当たるが、その高速道路をくぐらず左に約100m行ったところに、高さ2.3m、幅3.0mの洞門がある。普通車が通るととても危険で、歩行者が通ることができない。洞門の改良工事として、信号機の取り付けをお願いする。	【平成26年10月30日実施済】 注意看板の設置を完了しました。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
73	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	秘書政策課	がんばる地域交付金について	がんばる地域交付金は3億2千万円ほどだが、これをどのように使おうと しているのか。	がんばる地域交付金については、最終的に3億5千万円程の交付決定 がありました。 本交付金は建設事業に充てるものであり、平成26年度に実施した宮沢 賢治記念館・高村光太郎記念館の改修・整備事業のほか、振興センター の改修、小中学校の施設改修、山の駅・昭和の学校整備事業などに活 用いたしました。
74	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	教育企画課	湯口中学校改築について	湯口中学校の改築が遅れているようだが、設計者の問題と聞いている。 現状はどうか。	・基本設計、地質調査、屋外環境整備設計については完了。現在実施設 計を進めている。 ・平成27年1月に27年度入学予定の生徒数が当初より減るという情報が あった。 ・そのことにより学級数も減ることとなり、床面積が減るため現在進めて いた実施設計について変更が生じ、その業務に時間を要することから繰 越事業とし期間を延長することとした。(平成27年7月31日までの予定) ・年次計画については3か月程度の遅れが見込まれるが、校舎は予定ど おり28年度完成予定の見込みである。屋内運動場は当初28年度完成予 定であったが、29年度にずれ込む見込みとなる。全体計画としては変更 が生じない予定。
75	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	水道管埋設工事箇所の舗装 について	鍋倉カンナ通りで、老朽化した水道管の工事に入る。過去に実施した舗 装厚は薄いと聞いている。工事の埋戻しの際、この際、嵩上げて舗装 ができないものか。	7月4日現地を見たところオーバーレイの必要はない状況でした。
76	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	春日神社前の道路補修につ いて	春日神社前の道路が地震の影響で下がっているので補修してほしい。 以前に修繕してもらった箇所となりである。	【平成26年8月8日実施済】 道路補修を完了しました。
77	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	土水路の浚渫について	市道鍋倉線のカントリーのところ、タカショウ商店の前から並行してジガミ 公民館バス停まで市の管理道路となっている。この道路は基盤整備でつ くったものであるが、市道との間に土水路がある。田んぼの所有者にお いて、草を刈ったり泥上げをしているが、詰まっている箇所があり、雨が 多く降ると溢れるので泥上げをお願いしたい。	沿線の水田の方。農地・水環境保全の組織で何とか対応願いたい。
78	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	未舗装道路への碎石敷設要 望	志戸平地区には「薄衣の滝」という景勝地がある。滝の遊歩道等は、高 齢化、資金不足のため多方面からの協力を得て整備活動を進めてい る。滝に行く手前の市道が未舗装で、雨が降れば水溜りとなり、観光客 が大変であることから碎石を敷設して欲しい。	【平成26年7月16日実施済】 砂利敷きを完了しました。
79	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	都市政策課	湯口団地について	湯口団地には、現在52世帯が入っているが、売り出ししている空地が後 70ちょっとで埋まってしまう。全部埋まった後は、かつて400世帯構想が あったそうだが、400世帯で進めるのか、それとも社会情勢を見ながら判 断するのか。	未造成地11. 9ヘクタールのうち、岩手県が所有する7. 9ヘクタールに ついては、今後、売却促進に努めると伺っています。また、花巻市が所 有する4. 0ヘクタールについては、岩手県土地開発公社による分譲状 況を勘案するとともに、売却も含めて活用について検討しています。
80	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	長寿福祉課	市営の高齢者住宅整備要望	市営による高齢者一人暮らし総合住宅のような、個室、交流室、保健室 を備えた施設をお願いしたい。高齢者の一人暮らしは、空き家や見守り に係る負担の増加につながる。人は人と触れ合うことで元気に長生きで きと思う。施設内に家族が泊まれるゲストルームがあれば、Iターン、U ターンで子どもが帰ってきた時、花巻をいいところだここに住むという方 法もあるのではないか。	市内には、社会福祉法人による軽費老人ホームのほか、民間による有 料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅がありますが、平成27年 度においてもサービス付き高齢者向け住宅の整備が予定されているとこ ろであり、十分な供給状態にあると捉えています。今後も高齢者向けの 住まいが安定的に確保されるよう努めていきます。
81	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	秘書政策課	人口減少対策について	定住圏構想については市単独では困難と思うが、、国の補助の検討や 類似地区の優良事例に係る情報も見ながら、花巻にあった方法を考え ていただきたい。最初から、地域で地域でと言われても限界があると思 う。	職員チームによる検討を踏まえ、10月末に「人口減少対策に関する中間 報告」をお示しし、市民の皆様の意見をいただき、予算編成作業の中で 国の補正予算に対応し、19の事業を平成26年度補正予算に計上しまし た。今後、平成27年度予算と一体的に実行に移してまいります。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
82	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	こども課	こどもフェスティバルについて	5月5日に「こどもフェスティバル」が開催されていたが、ある日突然実行委員会が解散させられた。青少年団体連絡協議会が実行委員会に入り、自分も会長を務めたことがあるが評判がよく、なぜなくなったのか何人からも聞かれた。親子で鯉のぼりを作ったり、触れ合いの機会として出来れば継続をお願いしたい。	こどもフェスティバルは、長年、青少年活動に積極的な団体が実行委員会を設立し毎年開催してきた。実行委員会構成団体の減少や高齢化の課題、開催当初に比べこどもの日におけるこどもフェスティバル以外の民間主催のイベントや遊びの場が設けられてきたこと等から、所期の目的を達成したと判断し、構成団体間で協議のうえ実行委員会を解散したものである。今後は、こどもセンターや地域子育て支援センター等での地域における子育ての事業の支援を行っていく。
83	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ①	稗貫川の下町地内の護岸について、危険箇所が多数あり、立木も多く、風雪で倒木することもあるので整備してほしい。(個人で護岸工事できる状況ではない)	【平成26年7月3日実施済】 市が左岸道路護岸部を伐採し完了しました。
84	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ②	柳橋～新大橋間の左岸堤防の槻の木(ケヤキ)が大きくなって景観が良くないので伐採してほしい。	平成26年11月26日、花巻土木センターから「護岸整備等の河川改修は、県全域の要改修の緊急性を考慮しながら行っており、要望区間は、早期の事業化は難しく、状況を注意深く監視していく」との回答があった。危険回避のため護岸整備について、今後も県に継続して要望する。
85	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ③	新大橋下流左岸の槻の木(ケヤキ)の先端の枝が、橋の歩道に伸びてきている。強風で折れて、通行人に危害をおよぼすおそれがあるので伐採してほしい。歩道上部の高い枝も、強風等で折れることも考えられるので整枝してほしい。	岩手県花巻土木センターに要望したところ、「通行人や通行車両の安全確保のための立木の伐採等については、道路/パトロールや河川巡視等を通じて状況を注視しながら、花巻市内全体の状況を勘案し、治水安全上問題があり、緊急性を要する箇所から、関係機関の意見を聴きながら適切に対応していきます。なお、枝打ちだけでも早期に対応するなど、地域の皆様のご意見も伺いながら対応を検討していきます。」と回答を頂たところですが、市といたしましては、危険回避のため早期に整枝するよう、今後も県に継続して要望してまいります。 なお、歩行者の支障となる樹木については、7月8日に市が枝打伐採を完了しました。
86	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ④	槻の木が倒木し川に流れるなどした場合、新岳南橋の橋桁に引っかかって、下町地域が洪水となってしまう。 昨今、観測史上最大の大雨が記録されているので、その辺も念頭に置いて、進めてもらいたい。 また、小学校から水辺の学校までの川辺にゴミが散乱している。	岩手県花巻土木センターに要望したところ、「良好な景観維持のための立木の伐採については、花巻市内全体の状況や景観や環境に対する地域の協力により伐採をしていただけるのであれば県でも協力をします。また、治水安全上問題があり緊急性を要する箇所から、漁業協同組合等の意見を聴きながら適切に対応していきます。」と回答を頂たところですが、市といたしましては、道路の法面保護の観点から伐採は避けた方が良いと考えております。なお、周辺の草刈りについては、10月3日花巻土木センターに要望済みです。
87	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ⑤	柳橋から大橋までの樹木管理について、防犯灯に覆いかぶさった箇所がある。(元山田商店の裏手「花巻市」の表示有) 河川と民地の境であるため、所有者の特定は難しいと思うが、対応をお願いする。 (川原町行政区長より)この件については、すでに総合支所地域振興課へ報告済みである。	【平成26年10月14日実施済】 市で伐採を完了しました。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
88	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	防災危機管理課	防災無線の音量について	火災時のサイレンが聞こえづらいので音を大きくしてほしい。また、スピーカーの増設はできないか。	平日の8時30分～17時15分までの間であれば、防災無線を使って火災等の周知を行っている。現在は、設備の最大能力で音を出している状況であるため、これ以上の調整をするとすれば、音質を変えるなど既存の設備でできる限りの対応をしたい。 その他にも、携帯電話に花巻市消防本部からメールで流すサービスも行っているので、情報の収集方法として個々に設定をしてほしい。 暴風災害などでは、防災無線は有効的ではないため、FMはなまきで防災情報を提供していく。地域によってはラジオも聞こえづらいため、TVの共同アンテナを活用し、放送を傍受できるよう勧めている。 昨年8/9の豪雨災害時は、有効な情報伝達ができなかったことを踏まえ、警戒情報等が発表された場合には、携帯電話のエリアメールを活用し、お知らせするという手段を進めている。
89	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	防災危機管理課	災害情報等の伝達方法について	防災無線設備について、こだまして何をいつているかわからない状況である。要望があり市で取り組んだ後は、住民への確認作業までを行ってほしい。 また、合併してから防災無線が聞きづらくなったように感じる。 FMはなまき・携帯メールとの話だが、災害時の弱者は高齢者であり、携帯電話等のハイテクを必要としない世代である。ローテクの仕組み作りが必要なのではないか。携帯電話等を使いこなせる方だけが情報を持てるとするのは不公平ではないか。	土砂災害警戒区域等の指定を受けた湯口・湯本地区にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対して、1台防災ラジオの無料貸し出しを行っております。(H27.2月～3月 湯本・湯口振興センター等にて実施済み) また、今後土砂災害危険箇所にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対しても、無料貸し出しを行ってまいります。 H27.2に花巻市避難勧告等発令・伝達マニュアルを見直し、災害時の情報伝達方法を具体的に定めております。
90	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	神楽大会について	過去に数回開催している全国神楽大会の実施と、実施にあたっては大迫町での開催を要望する。	・1/13早池峰神楽保存会総会が開催。会長に上田市長を選任。 ・2/19日市長と大迫地域郷土芸能団体との意見交換会において、大迫総合支所地域振興課が中心となって、開催場所・日時を検討することとした。
91	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	観光課 大迫総合支所地域振興課	カントリープラザ跡地について	観光や災害時の避難場所などの複合的な施設としての建物が必要と考える。地域のまとまった意見として要望すれば考えていただけるのか。	「ぶどうの丘」全体の施設については、計画的に修繕等を行うことで魅力を高めていきたいと考えており、カントリープラザについては、平成28年度から整備することで検討している。
92	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	教育企画課	大迫中学校校舎改築について	現在の状況を具体的に説明してほしい。 住民主体の組織で検討していくようだがどのような構成の組織になるのか。今後のスケジュールを教えてください。	・大迫中学校の改築について、大迫地域の各団体、住民と協議を重ね、市としても十分に検討した結果、現大迫中学校の敷地で事業を進めたいという考えをまとめ、10月27日の定例記者会見及び市議会議員への情報提供、11月1日の大迫地域各振興センターだよりにより公表、周知を行った。 ・11月末には進捗状況、26年度事業内容について議員説明会、大迫地域住民説明会で報告、説明を行った。 ○11月中旬から27年1月末までに「大迫中学校改築検討会(構造に関する検討)」を5回開催し、木造、非木造の比較を中心に構造に関して検討している。その経過や意見を整理し、2月から3月に市議会議員、大迫地域の学校関係者、地域住民に説明することとしている。 ○1月17日に学校施設見学会を実施した。 ※大迫地域の小中学校、保育園の保護者を対象に案内。市内の最新施設の2校(非木造)と遠野市内の木造校舎2校を見学し意見をいただき、改築検討会(構造関係)でも参考意見とした。 ○2月23日の議員説明会で改築検討会(構造関係)の経過、意見とそのことを踏まえた今後の課題、進め方等について説明した。 ○3月17日に大迫中学校PTA会員に対し、議員説明会と同様の内容について説明会を開催した。 ○3月25日に同様の説明会を大迫地域住民の方に対し開催する予定。 ○平成26年度事業(現況、用地測量)は平成27年3月20日完了。 【今後の予定】 ・平成27年度 ※基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境整備設計等の設計関係を行う。 ※基本設計業務の早い段階(5月下旬から6月初旬予定)で今までの検討会、説明会等の意見を取り入れたある程度具体的な計画を再度市議会議員、学校関係者、地域住民に説明する。 ・平成28年度から平成29年度 ※校舎の建築。29年度に新校舎へ引越し予定。 ・平成30年度 ※体育館等の建築。 ・平成31年度 ※校庭等の整備。
93	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	総務課	教育委員の選出について	教育委員に大迫出身者がいないが、適任者がいないということか。	次期任用の際に考慮します。□

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
94	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	教育企画課	大迫中学校改築スケジュールについて	6/25に文化会館で木造校舎のシンポジウムがあった。トータルコスト・環境問題では木造がいいという内容であったが、工事に3年かかるという内容であった。 市ではH29年度完成予定とのことだが、決定するプロセスの中で、市民が関わる部分をオープンにしてほしい。また、噂レベルで完成年度がH29年度とのことだが、市の方のスケジュールを教えてください。 子どもたちのために、よりよい中学校の建設をしていただくようお願いする。	・大迫中学校の改築について、大迫地域の各団体、住民と協議を重ね、市としても十分に検討した結果、現大迫中学校の敷地で事業を進めたいという考えをまとめ、10月27日の定例記者会見及び市議会議員への情報提供、11月1日の大迫地域各振興センターだよりにより公表、周知を行った。 ・11月末には進捗状況、26年度事業内容について議員説明会、大迫地域住民説明会で報告、説明を行った。 ○11月中旬から27年1月末までに「大迫中学校改築検討会(構造に関する検討)」を5回開催し、木造、非木造の比較を中心に構造に関して検討している。その経過や意見を整理し、2月から3月に市議会議員、大迫地域の学校関係者、地域住民に説明することとしている。 ○1月17日に学校施設見学会を実施した。 ※大迫地域の小中学校、保育園の保護者を対象に案内。市内の最新施設の2校(非木造)と遠野市内の木造校舎2校を見学し意見をいただき、改築検討会(構造関係)でも参考意見とした。 ○2月23日の議員説明会で改築検討会(構造関係)の経過、意見とそのことを踏まえた今後の課題、進め方等について説明した。 ○3月17日に大迫中学校PTA会員に対し、議員説明会と同様の内容について説明会を開催した。 ○3月25日に同様の説明会を大迫地域住民の方に対し開催する予定。 ○平成26年度事業(現況、用地測量)は平成27年3月20日完了。 【今後の予定】 ・平成27年度 ※基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境整備設計等の設計関係を行う。 ※基本設計業務の早い段階(5月下旬から6月初旬予定)で今までの検討会、説明会等の意見を取り入れたある程度具体的な計画を再度市議会議員、学校関係者、地域住民に説明する。 ・平成28年度から平成29年度 ※校舎の建築。29年度に新校舎へ引越し予定。 ・平成30年度 ※体育館等の建築。 ・平成31年度 ※校庭等の整備。
95	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	南部タバコ資料館について	現在、閉館しているようだが、植木の手入れなどのメンテナンス等もしていない状況にあるので今後どうするか教えてください。	・27年度委託料で執行予定。 ・南部たばこ資料館については、現在、閉館しているものではなく、花巻市総合文化財センターにおいて、常時、希望者に対応し、見学できる状況を今後も維持する。 ・施設の活用及び管理方法については、地域や関係団体の意見を引き続き伺いながら、地域の方々と協力して管理できるよう協議を進め、地域の施設として活用できるよう検討を進める。
96	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	信号のない交差点での安全確保対策について	事故が多発している交差点について、一時停止看板を設置しているようだが、看板に気づかず通り過ぎる車が見受けられる。看板を目立つようにするなど、徹底してほしい。 何回も要望しているが、交通事故の多い少ないにかかわらず、通学路にもなっているため、子供の安全確保の観点から何とかお願いしたい。 ・市道大迫病院線と主要地方道盛岡大迫東和線の交差点(下町) ・主要地方道盛岡大迫東和線と市道向山根線の交差点(亀ヶ森8区)	【平成26年11月26日実施済】 イメージハンプの設置を完了しました。
97	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	早起きマラソン会場のトイレについて	市で推奨している早起きマラソンに参加しているが、会場となっている愛宕山公園ウォーキングコースにはトイレがなく、参加者が不便に感じている。 文化財センター職員駐車場にある公衆トイレの開放について、何度か要望しているが、対応してもらえない。1時間でもいいから開放していただきたい。(6月・9月)	・大迫振興センターを窓口にして、スベアキーを貸与し、次年度以降に実施される早起きマラソン時に開放することとした。
98	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	総務課	市の職員の地域行事への参加について	地域行事などで頼りになるのは、やはり市の職員である。職員が地域行事に参加しやすいような職場づくりをお願いしたい。	年休取得の啓発・促進の取り組みとともに地域活動・祭りへの参加について機会を捉えて呼びかけています。
99	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	道路の景観保全について	大迫交流活性化センターから文化財センターまでの登り坂を毎朝散歩しているが、法面の草やコケ・樹木の枯れ枝が放置されているなど景観が悪い。 観光客が歩くには見苦しい状況なので整備してほしい。	市道公園線整備事業については、今年度用地測量を終えており、来年度に用地買収を行い、平成29年度までに工事を完了する予定です。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
100	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (交付金について)	将来的に財政規模を現在に比べ約50億円ほど減額する予定だと聞いているが、各コミュニティに交付している交付金は従来どおりとしていただきたい。交付金額に見直しが出た場合に一つのルール提言がある。大瀬川活性化会議は27地区ある中で交付金額が一番低く(439万円)、ほとんどがソフト事業であり、他地区で行っているハード事業、いわゆる舗装工事や側溝工事にほとんど取り組めない。そこで、交付金600万円以下のコミュニティ会議がハード事業に取り組めるよう、別枠で使える上限を設けて1,000万円程度交付金を確保しておくとか、交付金の算定に基本割、人口割、面積割のほかに整備率を参入するとか検討してはどうか。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
101	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (コミュニティ会議の検証について)	コミュニティ会議が誕生して8年が経過しているが、職員もコミュニティ会議も人事異動等で大幅に変わってきている。職員は地域づくりを理解しているか、正しく地域を指導しているか。コミュニティ会議では交付金の使い道が適切か、ルールを理解して事業を行っているか、など納得して事業に取り組み、不明な点などは検証しながら見直すべきだと思う。全体の学習会を行ってはどうか。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
102	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (要望書の提出先について)	コミュニティ会議から市へ要望書を提出する際、道路整備関係はルール化されているが、そのほかはどこに出せばいいか、要望について役所内の取り決めがあると思うが、わかりやすくご教示願いたい。	担当課で要望書を受付地域づくり課で集約する手順となっている。コミュニティ会議からの要望は花巻地域であれば地域づくり課、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域は総合支所地域振興課で受け付ける。
103	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (プールの指定管理について)	大瀬川活性化会議では、市から施設の指定管理等を受託しているが、大瀬川運動公園内のプールも管理受託している。児童数の減少でプール監視する世帯も少なく安全面で心配もあるし、ろ過機も年数が経過し、いつ壊れるか心配である。市では、当地区のプールの存続をどう考えているのか、ろ過機が壊れれば廃止せざるを得ないとか市の方向性をお示し願いたい。	利用団体(子供育成会)と、引き続き利用する方向で調整済み。なおろ過機修繕料は新年度予算に措置済み。
104	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	道路課	道路の整備について	ここには宮沢賢治が歩いた葛丸溪流という景勝地がある。岩手国体に向けて、その道なりは道幅が狭いので、大型バスがスムーズに通れるような整備をお願いしたい。	道路整備は区長がとりまとめ要望していくものだが、なかなか生活道路の整備の順番が回ってこない現実もあるので、国体のためだけに整備するのは難しい。
105	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	国体推進課	国体会場駐車場の整備について	体育指導員をしていたことがあり国体等にスタッフとして従事した経験から、スタッフ用の駐車場が遠かったり、来場者等の関係ですぐに出られなかった。スタッフにも配慮するようお願いしたい。	駐車場の整備等は、できるだけスタッフに負担をかけないように考えていきたい。
106	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	生涯学習交流課	石鳥谷生涯学習会館の畳替え等メンテナンスについて	石鳥谷生涯学習会館を利用しているが、畳の表替えやふすまの張替えを行っていないようで、ふすまは破れ、畳は磨り減っている。補修等既存施設のメンテナンスをお願いしたい。	畳及びふすまを修繕済。(平成26年8月8日完了)
107	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	生活環境課	石鳥谷斎場の維持について	花巻市の火葬場をしみず斎園に集約すると遠くて不便になる。石鳥谷斎場は市内湯本地区のほか、市外からの利用もある。古くなっているが、石鳥谷斎場を廃止しないようお願いしたい。	当面、廃止する予定はありません。
108	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	農村林務課	「葛丸一の滝」への昇降階段の整備について	花巻市内で一番美しい滝は、「葛丸一の滝」だと思っているが、そこに降りる階段が上のほうに3分の1しかない。下のほうまでつなげるのにそんなに経費もかからないと思う。今まで手をかけられなかったのは、保安林の関係だと思う。今は国立公園でも手続きをすれば建物が建つ時代なので、階段の整備もできるのではないかな。何とか整備をお願いしたい。	階段設置は用地等の問題があり、困難である旨を意見申出者に説明し了解を得た。
109	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課	コミュニティ会議の人件費について	先ほどコミュニティの人件費の話があったが、農地・水の事務局をやっている経験から、最初はやりくりが大変だった。いろいろな機関からの指導があり、事務量が増えても事務が楽になったり、人件費も圧縮してできるようになったので、人件費も抑えられると思う。	コミュニティ会議における人件費については、指定管理業務委託の中で平成27年度においても算定している。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
110	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	農村林務課	分収林契約の履行について	平成9年5月大規模な山林火災があって大きな被害があった。当時分収林組合の組合長をしていた。火災に際して、県も町も森林組合も真摯に対処した。その後、当時の町長と営林署と取り交わした契約(植林、育林等について)があるはずだが、きめ細かな契約であったと記憶している。現在は、管理が滞り、用材の価値もないようだ。契約が履行されてなく残念である。省みられないのは情けない話である。	平成20年以前まで県の補助事業により下刈りを行った。 契約書にある造林計画書に基づ平成21、22年度に除伐を実施しており、今後2～3年のうちに保育作業を行います。 (質問者へ説明済み 9/18)
111	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	生活道路(市道)の整備促進について	上浮田～北上線を整備してもらい、幹線道路に相応しい形にもらった。現在着工中の市道茶畑線(下浮田)、下丸内線(中内)の工事促進もお願いしたい。まだまだ幅員の狭い道路が多く、整備が遅れている。冬は雪が降ると除雪が間に合わず、大型車が入って来られない。離村を促している部分もあるのではないかと。多くは望んでいないが、一番大事な生活道路はぜひ整備促進をお願いしたい。	浮田地区の生活道路の整備状況は、当地区と同様な環境にある地区と大きな差はなく、浮田地区コミュニティ会議からいただいた土木施設整備要望書により、緊急性、必要性を市全体の視点で検討し、継続箇所の進捗状況を勘案して整備を行っております。 また下中内浮田線・下丸内線については通常整備を進めてまいります。
112	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	市道の整備について	合併時にUターンしてきた。道幅が狭く土側溝が軟弱、除雪もできない。栄田線の整備をお願いしたい。	土木施設要望については、区長会または、コミュニティ会議で優先順位を付けて取りまとめていただくこととなり、市では優先順位をもとに、緊急性、必要性を市全体の視点で検討し、継続箇所の進捗状況を勘案し整備を行います。
113	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	市道の冬場対策について	整備が難しいのであれば、冬場の対策として待避所などの手立てをしないと大変。 事業採択の際には、担当者だけでなく地域の人に立ち会ってもらい実情を聞くべきではないか。整備率の低い地区は低いままではなく、いつか一気に上げてもらいたい。	【平成26年10月23日実施済】 コミュニティ会議と区長と要望箇所を現地確認しました。
114	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	地区ごとの整備路線数について	コミュニティ会議で順番をつけて要望している。1コミュニティにつき3.7路線が平均と聞いたが、上浮田線の完成が遅れたことも加味して今後の整備を考えてほしい。	以前は各地区で均して採択した経緯もあるが、現在は現地を確認して採択している。整備路線が1件または0の地区もある。地域ごとに差もあるが緊急度のあるものから進める。
115	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	排水路整備の要望	太田目沢の排水路整備の要望をしているが、U字溝が古くなっている。下のほうには石がたまっており、人力では処理できない状況。 要望をし続ければ叶うものか。順番を決めて要望して待っていたが全く先が見えない状況なのか。	当該排水路の整備要望については、浮田地区の土木施設整備要望に入っていないことから、地域の中で相談し要望願います。 なお、農地・水での整備については、担当課に確認したところ、区域外であることから困難な状況であります。
116	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	除雪の実態と要望	毒沢からこちら(浮田)側は雪が多いが、業者は土沢に雪が無いと除雪に来ない。 市道は雪が厚いし除雪に来るのも遅い。除雪に来ない地域もある。地域にあった除雪をしていただきたい。	市のパトロールにより積雪状況を確認し、その状況に応じて業者に連絡し除雪を実施しております。
117	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	農村林務課	山の資源利用が促進されるしくみの構築について	松枯れ以外にも山は荒れている。生活する人間がなかなか山に入らなくなった、利用しなくなったことも要因だと思う。山の資源を利用するという前向きな対策があるのではないかと。十分ではないかもしれないが、今の生活の中でよく利用することを考える必要がある。 コミュニティ会議で煙突の見える村づくりを進めることとし、どのように組み立てるか考えている。 今の生活の中で上手に使う具体的な勉強会も必要だが、制度的にも対策が必要ではないか。例えば、製材ステーションをモデル的に整備して、作れる人と利用する人を結ぶような仕組みなど、このようなことをやれば資源利用が進んで山が活かされているという感じがする。	農村林務課から質問者へ説明済み

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
118	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	農村林務課	獣害対策について	獣害については、コミュニティ会議で研修会をして、どう対策したらいいか勉強したり、用具の購入補助をしたりしている。(簡易な電気柵の購入・設置、箱罌の購入) ハクビシン程度はコミュニティ会議の事業でなんとかなるが、ニホンジカがどんどん増えて群れている。水田被害を防ぐための柵を作りたい場合は市の事業をお願いしなければならない。	有害獣対策として、平成26年度当初予算の126万円に加え、9月補正で210万円を増額補正した。
119	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	生活環境課	太陽光発電について	市有地である浮田小学校跡地のグラウンドも適地ではないか。	太陽光発電をやりたいという企業があったが、花巻市が将来使うかもしれない土地を20年貸すことはできないので、市有地の広いところ2か所は断った。
120	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	こども課	保育園の存続について	子どもたちの声を聞くことが少なくなってきた。保育園は統合されるという話もあるようだが、保育園は地域に長く残していただけるのか。今後の方向性をお聞きたい。	子ども・子育て支援事業計画を策定した。市内4地区の今後5年間の保育利用量と確保量の見込みにあわせ、市全体のにおけるの保育園のあり方について検討していく。
121	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	秘書政策課	人口減少対策について	増田前知事が座長を務める「日本創生会議」で「地方都市が消える時代」を危惧しているという話があったが、政府でも今後検討委員会をもつようだ。 これらを受けて、花巻市でも何か考えがあるのか。	職員チームによる検討を踏まえ、10月末に「人口減少対策に関する中間報告」をお示しし、市民の皆様の意見をいただき、予算編成作業の中で国の補正予算に対応し、19の事業を平成26年度補正予算に計上しました。今後、平成27年度予算と一体的に実行に移してまいります。
122	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	生涯学習交流課	モテモテ塾について	モテモテ塾は若者の意見を聞いて企画したのか。都会から講師を招聘しているようだが、地域で考えた企画をしていただければと思う。(甥に勧めたが応募しにくい様子だった。)	モテモテ塾は今年度新規の事業として、若者の魅力アップを目的として実施したところである。来年度も継続して実施することとしており、より若い方々が参加しやすく、また、効果があがるような講座としていくため、本年度の受講者からの意見を反映させながら内容等を精査していきたい。
123	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	東和総合支所地域振興課	毒沢公民館の水道の水圧について	毒沢公民館の水道の圧力が高すぎる。それが原因で不凍栓が壊れたのではないかと考えられる。 以前の市政懇談会でもお願いしていたが、どのような状況か。	適切な水圧で供給するのは水道管理者の責任。水道企業団に状況を確認してみる。 →水道企業団に聞き取りをしたところ、毒沢地区の水道管の圧力が強くなったのは、平成18年度に砂子地区を編入したところ、砂子地区の山側(大瀧神社たもと)まで送水圧を高めたためであり、水道管の本管の圧力を低減させる減圧弁を水道企業団側で実施する方針であることを確認した。 具体的にはH26年度は調査設計を行い、H27年度に工事を行う予定である、水道管の圧力は1.5kg/㎤から7.5kg/㎤以下が適正圧であり、毒沢地区の現圧力は8～9kg/㎤であるとのこと。 個別に減圧弁の設置に補助する制度はないかと問い合わせたが、無いとのこと。
124	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	秘書政策課	東和高校の跡地活用について	介護関係の学校が東和高校跡地にくるという話だったが、調査をしたら生徒が少ないのでやめたと聞いた。施設の活用と若い人たちが来ること活気が出るのではないかとすることを期待した。これまでの経緯を聞きたい。 過疎化が進む中で、生徒が少ないからこそここに来る意義があると思うが、定住対策で活用する考えはないか。	東和高校の跡地活用については今のところ目途が立っていないので、地域の皆様の意見も聞きながら考えてまいります。 開学したいという法人があれば誘致したいが、今回の例を見てもなかなか難しいと思われます。
125	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課 スポーツ振興課 国体推進課	江曾運動広場の整備計画について	江曾運動広場は地域の交流の場としての使用はもとより、最近は各種グラウンドゴルフ大会の会場としての利用や、石鳥谷ふれあい運動公園で行われるソフトボール大会における練習会場になったりと、多目的に大勢の方々に利用いただいている。しかし、トイレが1か所しかないため、大きな大会の際には、隣接の江曾自治公民館のトイレを利用するなど、不便な現状である。また、グラウンドに設置された屋根つきのベンチは老朽化が進み、改修が必要と思われる。2016年のいわて国体では、石鳥谷ふれあい運動公園がソフトボール競技の会場になっていることから、江曾運動広場が練習会場になることも想定されるので、市の整備計画について伺いたい。	江曾運動公園広場は、国体ソフトボール競技の練習会場として予定しておらず、大規模な整備は予定していない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
126	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課	江曾運動広場のトイレの整備について	国体のソフトボールの練習会場になっていないという話だが、ここではグラウンドゴルフの大会がある。先日も石鳥谷町のグラウンドゴルフの大会があり、約140名の参加者があったし、八幡地区では月に3回(90名/1回)グラウンドゴルフの利用がある。トイレは外に1か所、男性用・女性用各1基あるだけである。プレイが始まるとトイレに行けないため、10分くらいの休憩時間になるとトイレが大混雑する。江曾自治公民館のトイレもフル回転。汲み取り料もかさむし、トイレ掃除も大変である。グラウンドゴルフの大会は、石鳥谷町内ではここだけである。なんとかトイレを設置願いたい。	江曾運動広場の利用状況を勘案しながら、必要な整備や運用について検討している。
127	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課	江曾運動広場の環境整備について	江曾運動広場グラウンドの脇に自分の畑があるが、トイレに間に合わなくて畑に用を足す方もある。ぜひトイレを設置していただきたい。江曾運動広場にはちょっとした庭園があるが、ドウダンツツジは伸び放題で、ぜんぜん手入れがなされていない。雪が降ると倒れたり、見る影もない。桜も大きくなって手入れがなされていない。樹木等周辺を含めた整備をお願いする。	江曾運動広場の利用状況を勘案しながら、必要な整備や運用について検討している。
128	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	道路課	街路灯の設置について	当協議会では、地区内の自治公民館単位にふれあい懇談会を実施して、地区内のいろいろな意見を聞いているが、県道中寺林犬淵線の、石鳥谷総合支所と葛丸橋の間の歩道が暗くて、とても危険だという話が出ている。通学路なので、事故が起こらないよういい方法で解決してほしい。	基本的に、道路照明の設置については、道路管理者は道路の交差点、橋の周りを主に設置している。街路灯は、地区コミュニティ会議にお願いして進めている。ただ最近は、子供に絡んだいろいろな事件も発生しているので、そういう面でも設置等について、道路管理者(県や市)で取り組まなければいけないと思う。学校のほうからも意見を聞きながら、総合的に決めていきたいと考えている。
129	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	国保医療課	人間ドック受診にかかる補助金の交付について	毎年人間ドックを受けており補助金を出してもらっている。申請して補助金が出るまで時間がかかるようだ。申請の際に条件を確認してもらいながら提出しているのだから、もっと迅速にできないかと感じている。盛岡ではすぐ補助金が交付されるという話である。盛岡に聞いて参考にしてもらいたい。せっかく補助金をもらうので、もらうなら早いほうがいいと思う。	当市の人間ドックに係る補助金は、原則15日までに申請した場合は当月30日、月末までに申請した場合は翌月15日の支払と、申請してから遅くとも1月以内に振り込んでいる。 なお、市内に実施機関の多い盛岡市では、市内の人間ドック実施機関と契約し、検査料金の負担は市補助分を差し引いた分を負担すればよい方式をとっているが、花巻市は実施機関が少ないので市内にかかわらず全国どこでもドックを受検できるようにしており、これに補助している。
130	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	生涯学習交流課	姉妹都市等への生徒の派遣について	国際交流について、旧1市3町にそれぞれ交流先があり、それぞれに思い入れがあると思うので、その思いを吸収して具現化してほしいと思っている。合併してから2回、石鳥谷中学校の生徒がラットランドに派遣されなかったということを知り、驚きと失望を感じた。派遣生徒の選考にあたっては、たとえばラットランドへの派遣については石鳥谷中学校の生徒を、クリントンへは東和中学校の生徒を、そしてベルンドルフについては大迫中学校の生徒を、優先して最低1名を派遣するとか、競争もあると思うが、特別枠を設けるとか、旧1市3町の思いを活かす国際交流を行えるよう、(派遣事務を行っている)花巻国際交流協会を指導していただきたい。	現在は市内の中学2年生を対象に研修先の希望を取り、地域ごとの特別枠は設けられていないものの、学校や地域などのバランスも考慮しながら選考されているものと認識しているが、今後もそれぞれの地域の方々の意向も伺いながら、国際交流協会と話し合ってまいりたい。
131	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	秘書政策課	広報紙でのカタカナ用語の使い方について	先日広報紙が届いて中身を見ると、「パブリックコメント」というカタカナ文字が目飛び込んできた。広報は8割方わかるような表現で書かれたほうが良いと思うが、わかりにくかった。カタカナ文字の次に日本語を括弧書きで表現するなどの工夫をしたほうが良いと思う。	カタカナの用語が新聞でも主流になっておりますが、老若男女がわかるように表現に努めております。今後とも、わからない用語は解説をつけるとか配慮した形での広報紙づくりを進めてまいります。 日本語に訳しがたい用語もあつて難しいところもございますが、編集には気をつけてまいります。
132	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	商工労政課	花巻への誘致企業の状況について	企業誘致と人口減のかかわりについていろいろ対策を練っているようだが、新聞などを見ると、北上市や奥州市江刺などにかなり誘致されているようである。花巻への誘致事業はどのような状況になっているのか、花巻が位置的にまずい場所なのかどうか、これが人口増につながるひとつの手立てになると思うが、考えを伺いたい。	新工業団地等整備計画は平成26年度末に策定完了しますが、候補地の選定を経て平成27年度により具体的な実施計画の策定業務を行う予定です。 【平成27年3月末完了】

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
133	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	道路課	市道井戸向滝田線の拡幅について	市道井戸向滝田線の拡幅について先日道路課から説明を受けた。平成24年から着手するということであったが、地権者の一人が、「市の設計では駄目だ。擁壁を組み入れた設計にしろ。」ということで頓挫している。住宅もできてきて、通学路にもなっている。カーブのところが冬場特に危険である。すぐに着手してほしい。地権者は擁壁をつければ同意するといっている。事故があってからでは遅い。	市道井戸向滝田線の拡幅については、平成24年度事業に着手して整備を進めておりますが、今年度一部地権者から用地の協力が得られず、やむを得ず事業を休止しましたが、来年度は継続して交渉を行い早期完成に努めます。 交通安全対策については、公安委員会、教育委員会、PTAや地元の方々と連携し、安全、安心な交通の確保に努めてまいります。
134	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	商工労政課	工業団地の整備について	二枚橋工業団地北側の南寺林近辺に工業団地ができそうだと、うわさで聞いたが、情報があったら教えてほしい。	新工業団地等整備計画は平成26年度末に策定完了しますが、併せて候補地の選定を行う予定です。 【平成27年3月末完了】
135	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	消防本部総務課	消防団員の確保と消防団組織の再編について	定住人口の減少や急激な高齢化により、近い将来地域コミュニティの維持が困難になると見込まれる。特に消防団員の確保は極めて難しい状況にあり、現役団員の負担は年々大きくなっている。婦人協力隊もまた同様である。団組織の単位を拡大するなど、再編成が必要な時期に来ているのではないかと。	8月26日に今年度第1回目の花巻市消防団見直し委員会を開催し消防団の組織や団員確保について、それぞれの地域の置かれている実情と課題について議論を行った。 また、10月には消防団各部の現状、課題及び提言等についてのアンケート調査を行った。 この結果を集計及び分析したところ、11月12日に行われた今年度第2回目の見直し委員会では、組織や団員確保についての課題がさらに鮮明となった。 この現状を踏まえ委員会としては、団員が入団しやすい環境づくりのため、まずは消防団行事の見直しをすることとしたが、組織の再編等については、地域住民の消防団への期待が大きいこと、また、消防団の歴史には長いものがあり、地元後援会等の思いもあることから慎重な対応が必要であり、今後においても継続審議しながら将来的に持続可能な消防団組織にするための検討協議を更に進めることとした。
136	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	農業後継者の育成確保について	人口減少のみが理由ではないが、農業後継者の育成確保も困難な状況にある。今後は国の施策のみならず、地域独自の工夫が一層必要と思われるが、住民同士の話し合いでも解決策はなかなか見出せない。市がリーダーシップを発揮して施策を展開してほしいと考えるが、見解を伺いたい。 我々のような中山間地域では農業をやる人は60～70歳代。このあと誰が引き継いでいくのが問題と感じている。	市のホームページ、県・農業関係団体が開催する新規就農希望者を対象とするセミナーや相談会を活用し、花巻市をPRするとともに、青年就農給付金制度の周知を図りながら新規就農者の確保に努めている。 また、新規就農者への新たな支援策をH26年度3月補正予算で予算化したことから、今までの取り組みに加えてさらに確保対策を進めるほか、東和農村滞在施設の使用料を見直し(減額)、利用しやすい環境を整えている。
137	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	国の農業政策について	小さな農家は農業だけでは暮らしていけないので兼業で仕事をしたいが、地元で職を探すのが難しい。 今は担い手に農地を集約するというやり方になっているが、担い手の少ない中山間地において強引に国の制度を適用するのは無理がある。	今後も農業・農村を維持し発展させていくためには、農業を主として営む担い手や農業法人、集落営農組織を育成するとともに、中山間地域等直接支払制度の活用により地域農業を推進するなど、多様な農業者や市民の連携による農村全体の活動が重要であると考えており、各種施策の展開を図っていく。
138	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	集落営農組織の経理などについて	国の新しい制度が施行されようすると、集落組織の中に新たな組織を作らなければならなかったりして、事務処理をする人が大変。 農協や集落営農組織の在り方を見直して、会計や通帳の管理などを農協に位置付ける、あるいはコミュニティ会議の中に農業分野の経理・総務に堪能な方を入れるなど考えてもいいと思う。	市では、トータルアドバイザーと連携し、集落営農組織への支援を行っている。 また、経理・税務関係事務等について集落型経営体研究会研修会等を開催している。 今後も農協等と連携し対応していきたい。
139	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	市民生活総合相談センター	街路灯の整備について	東和小学校まで3kmほど徒歩で通っている子どもたちがいる。特に冬場は日照時間が少なく、下校時には暗く危険なので街路灯の整備をお願いしたい。	現在、街路灯の設置等につきましては、各コミュニティ会議で地域の要望を取りまとめ、整備に取り組んでいただいているところであり、成島地区コミュニティ会議内のご検討をお願いいたします。
140	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	花巻市博物館	東和ふるさと歴史資料館について	東和ふるさと歴史資料館は建物が古くなり危険ということで、地域で心配している。 観光ルートの流れも考え、旧土沢小学校跡地や成島振興センターに移転することも検討の中で考えてほしい。 観光施設などは一つだけポツンとあるより、近くにいくつかあるほうが訪れる人も見やすい。毘沙門天のふもとに資料館があってもいいと思うので、検討に入れてほしい。	資料館の今後の活用を検討するため、東和地域の市議会議員、芸術文協会、教育振興運動実践協議会、地域協議会の各代表者及び東和の歴史と文化財を学ぶ会関係者と東和地域出身の県議会議員で構成する東和ふるさと歴史資料館検討委員会を、1月28日に第2回目の会議を開催した。 資料館の資料保管先などの課題を整理し引き続き協議することを確認した。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
141	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農村林務課	有害鳥獣駆除について	先日、居住地域にクマが出没した。人身事故が発生しないように抜本的な対策はないものか。 ニホンジカの被害も増えているので、対応をお願いしたい。 ニホンジカはりんごの木の皮や豆の葉を食べる。徐々にイノシシの被害も出るのではないかと心配している。	まずは農村林務課や各支所、警察等に速やかに連絡願いたい。 食品残渣の処理の徹底、ラジオの携帯などクマを寄せない対策も個人の対策として周知している。
142	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	秘書政策課	地上デジタル放送共同受信施設のケーブル更新費用について	南成島地区の共同受信施設はH10年に整備し、H20年7月にNHKの助成でデジタル対応に向けた改修を行った。 施設の耐用年数は20年といわれており、近い将来改修が必要になる。 各世帯の負担を軽減するためにも、改修の際は市の補助をお願いしたい。	岩手県と連携し、国への支援を要望してまいります。
143	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	木製橋(南成島側の猿ヶ石川河川区域内)の腐食について	南成島側の猿ヶ石川河川区域内の「水車小屋」付近にある木製橋の欄干がかなり腐食してグラつき危険である。通行止めの表示がされていたが、景観上の観点からも早急に改修していただきたい。	【平成26年9月24日実施済】 今後の維持管理等を考慮し、木橋からコンクリート橋への架け替えを行い完了しております。
144	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	市道の落石について	市道北成島花巻線の一部区間で落石や土砂崩れがある。冬には30～50cmの落石もあった。何らかの対策をお願いしたい。 岩盤が崩壊する恐れはないのか。 小学生も通る道なので、早めの対応をお願いしたい。	【平成26年10月21日実施済】 立木伐採及び、防護ネット内の堆積土砂除去を完了しました。
145	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	市道毘沙門線について	毘沙門線は急勾配で急カーブが多く、側溝に蓋がない部分があるので、毎年脱輪する車がある。側溝の蓋をするなどの対策をお願いしたい。	【平成26年8月実施済】 脱輪の危険性の高い急カーブ箇所等の蓋のない側溝上に、カラーコーン(9か所)を設置済です。
146	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	東和総合支所地域振興課	散策路の整備について (北成島地内、猿ヶ石川堤防上部)	猿ヶ石川堤防に桜並木があり、東和にとっては一つの観光地点だと思うが、車から降りて散策する状況ではない。デイサービスのお年寄りなども寄れるように散策路の整備をお願いしたい。	地元と協議し平成27年度で桜並木の整備を実施することとしている。合わせて観光ルート等を検討する。(平成27年3月)
147	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	東和総合支所地域振興課	南成島の桜並木の管理について	30年程前に南成島側に植えられた桜の木も間伐する時期だと思われる。専門家に適切な管理方法を聞いて対応したほうが良いと思う。	7月9日、地域に市の環境マイスターを紹介した。(年内に研修会開催)
148	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	地域づくり課	まちづくり交付金の配分について	コミュニティ会議の交付金で3km近くの街路灯を整備するのはとても難しい。交付金の配分のうち平均割をもっと増やしてもらうとか、特別に街路灯の予算をつけるなどのご配慮をお願いしたい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
149	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	長寿福祉課	訪問看護の際のお願い	社協などから(高齢者宅などを)訪問している職員が、除雪や道路整備などについて、「市に言えば対応してくれる」などと気軽に言わないでほしい。実際はそんなに簡単に要望が叶うものではないので、真に受けた老人から「市に言えばやってくれるそうだから、伝えてほしい」と頼まれて困る。	市内介護サービス事業所が一同に会する花巻市ケアサービス事業所連絡協議会においてお伝えしましたが、今後とも、機会をとらえながら、周知を図っていきます。 【平成26年10月24日実施済】
150	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブ専用施設にかかる市の考えについて	平成24年度に学童クラブへの関心が高まり、設置に向けたアンケートをコミュニティ会議で実施したところ、八重畑小学校父兄の約3分の1から要望があった。その年の市政懇談会で学童クラブ設置要望を行い、市当局から、学童クラブ設置に向けた支援を行う旨回答をいただいた。以降学童クラブ設置準備委員会を計6回開催し、平成25年3月31日に、振興センター施設の一部を間借りする形で開所した。学童クラブ専用施設の場所について市の考えを聞きたい。	八重畑小学校の保健室及び図工室を学習室に整備することについて、平成27年度当初予算に措置されたところであり、今後、学童クラブ関係者、小学校、地域と協議しながら、整備を進めることとしている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
151	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブの施設について (教室のスペースの問題)	八重畑小学校で1教室可能とのことだが、一言だけ話したい。1教室の中にトイレ、流し台をつくり、机を置き、かばん置き場をそろえた場合、スペース的に可能なだろうか。年頃の男女がいる中、ひとつの教室の中でトイレがあって感覚的にどうなんだろうか、子どもたちにとって環境がいいのか、そういった部分に配慮いただきたい。 夫婦共稼ぎで、祖母がいるが高齢で送り迎えができない。仕事が終わってから迎えにいける。学童がなければ大変なので、学童クラブを維持してほしい。 場所について、振興センターはいい場所だ。空き教室を利用する場合は、ひとつの教室にトイレ・流し台を作るのは、スペース的に厳しいと思う。 2教室あると、こどもたちが学年ごとに、成長度合いで区分して使えるのではないと思う。せめて2教室ほしい。現在は振興センターを使わせてもらっているが、ここはあくまでも猪鼻の公民館と地域コミュニティの拠点なので、そこを無視して学童クラブというわけにもいかない。早く場所を選定してこどもたちが安心してすごすことができるようにしてほしい。 学校に学童クラブを設置する場合トイレが云々という話が出たが、渡り廊下をつけるなど、経費を安くする方法があるのではないか。いろんな手法を検討したほうがいい。体育館は使えるほうがいい。	八重畑小学校の保健室及び図工室を学習室に整備することについて、平成27年度当初予算に措置されたところであり、今後、学童クラブ関係者、小学校、地域と協議しながら、整備を進めることとしている。
152	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブの設置場所について	学童クラブについて、今までの話は進展した話ではなく、何度も聞いた話である。いつから新しい体制で活動できるかを聞きたいのである。いったい誰が責任を取って前に進むのかわからない。もう少し進展した話を聞きたいと思っている。 学童クラブ運営委員会の直近の会議では、こども課長ほか出席いただいて話し合いを行ったところであるが、学童クラブの設置については、①八重畑小学校の空き教室を利用する方法、②振興センター西側に増設する方法、③土俵の空き地に新設する方法の3つがある。可能性があると思うのは、八重畑小学校の空き教室だと思うし、その際には2教室を利用したほうがいいと思う。ほぼ共働きになってきて、児童数が減った場合も、学童クラブの利用者は増えるだろうと推測している。こども課には、一点に絞って八重畑小学校に2教室確保しつつ、小学校にも支障がないように詰めていただきたい。何とか将来を担う子供たちのために進めていただきたい。	八重畑小学校の保健室及び図工室を学習室に整備することについて、平成27年度当初予算に措置されたところであり、今後、学童クラブ関係者、小学校、地域と協議しながら、整備を進めることとしている。
153	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	観光資源にかかる土木整備について (土木施設要望の実態について)	土木整備について、市当局は毎年各区長等に地域の土木要望などをたくさん出すよう調査書が回ってくるが、過去の内容を考えると、区長が変わるごとに要望内容が変わる。要望順位が一番になるとすぐできるかと思えばそうでもない。いったいこの土木要望はその実現と実態がどうなっているのか不審に思っている。区長が変われば、また一番からやり直し。ガス抜きなのか、単なる意向調査なのか、その実態と今後についてお伺いしたい。	【平成26年9月18日実施済】 要望箇所を要望者であるコミュニティ協議会与現地調査しました。
154	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	土木施設要望に対する回答について	予算があるなしではなく、要望したことに対する責任ある回答をくださいと言っている。地域の区長が見回るときに、担当者が一緒に回って適切に判断しているということを理解することが大切だし、なぜこのような結果になったかコミュニティに回答するのが筋であろうということを言っているのだ。	予算が決定し要望者に事業実施箇所の説明をする際に、事業実施出来ない箇所についても説明してまいります。 10月14日には地元代表者と要望箇所を現地確認しております。
155	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	観光資源にかかる土木整備について (何年も要望している事項の取り扱いについて)	3区の区長をやっている。前の区長もその前の区長も毎年同じ場所を要望しているが、着手してもらえない。要望したならば返事が来るようきちんと回答するように努めていただきたい。 何年も前から要望していることを考えてもらわないと困る。市長も市議会議員もどういことを言って当選したか、公約を持っている。それに基づいて市の職員も公約を認識して仕事をしてもらわないと選んだ価値がない。市の職員は肝に銘じて仕事をしてもらいたい。 できないものは言ってもらったほうがいい。みんなよく理解していると思うと思うが、わかっていないから質問をしているのである。	予算が決定し要望者に事業実施箇所の説明をする際に、事業実施出来ない箇所についても説明してまいります。 10月14日には地元代表者と要望箇所を現地確認しております。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
156	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	道路要望について	合併前であれば問題点を整理して議員が要望をまとめていた。合併してコミュニティで取りまとめ、議員はそのことを議場で審議していると聞いている。道路整備について市とコミュニティの線引きをはっきりしてほしい。 コミュニティの指導によって大きな視野に立って要望するのが王道だ。八重畑としてどの道路なのか、当局は正直迷う。コミュニティの中でシステムを作るべきだし、これまでの経験を生かし知恵を授けるべきだ。	1回は説明させていただいているが、説明不足だったと反省している。もっと丁寧に説明していく。
157	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	観光課	観光資源にかかる看板の設置について (賢治関係)	何年か前に県道八重畑小山田線と県道羽黒堂八重畑線の合流地点の手前に、花巻農業高校あるいは羅須地人協会の案内標識をつけてくれと観光課に要望したところ、今はカーナビがあるので看板は必要ないと一蹴された。カーナビがついた車が100パーセントではないし、自転車やバイクで来るお客さんもいる。一蹴するような職員は要らない。観光課の職員には、どういうルートでお客さんがこられているかもう少し勉強してもらって、認識を改めてほしい。	「カーナビがあるから看板はいらない」という考えはまったく無く、昨年からはみちさき案内推進事業で市内各所に案内標識を設置している。標記文字が小さかったことなどに対応した新デザインで、今後も順次設置を進めていく。要望いただいた場所へはH27.6ころの設置予定。
158	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	石鳥谷地域の小学校統合について	子供の数が減っている。将来的にどうなっていくのか関心がある。かなり前から、少子化が進んできているので、小学校の合併を進めるべきではないかと思っている。小さい学校もほほえましいところもあるが、合併したほうが良いと思う。	石鳥谷地域の小学校の統合の話が進んでいるとは理解していない。住民のほうで統合を進めるべきというなら検討していくが、今のところそういう計画はない。
159	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	子どもの減少と小学校統合について	石鳥谷地域の子供の人数はどうなっていくのか。	八重畑地区は急激に減らない。石鳥谷小学校は急激に減る時期が来る。市全体でも減る。ただ、学校は地域において大事な役割を果たすので、子供の数が減るからといって、1箇所でもいいのかというと通学距離等あるので、一概に統合という話ではない。いろいろなことを考えながら、皆さんと話し合う時期は来ると思う。
160	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	大迫地域の小学校統合について	大迫では統合の話がないのか。	特に考えていない。
161	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	小中学校課	学校交流の実施について	少子化で児童数が減少している中で、八重畑小学校では12～13名の学級がある。石鳥谷中学校に行くとか400人クラスの学校になる。大きな学校に行くとか大変ではないか、小さい学校の児童はおどおどしているのではないかと心配している。合併しなくてもいいので、よその学校と理科やスポーツでもいいから交流して集団生活を学ばせるために、どこかの学校と交流する機会を作ったほうが、中学校に行ったときに仲間ができるのではないと思う。レクリエーション的なものでもかまわない。	現在交流事業をしているのは、笹間第一小学校と笹間第二小学校、大迫地域の3小学校の2グループであり、その目的は複式学級の子どもたちに適正規模で行う実技教科を体験させることにある。教職員の数が少ないので、進めるのが大変。交流を行うのもなかなか難しいようだ。
162	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	小中学校課	ALTの処遇について	英語を教えに来た先生が去年花巻市から解任された。今後どうするのか聞いたら、誰も手伝ってくれないので、自分で職を探さないとやって結局紫波で働くことになったという。学校訪問の際、昼食は自分ひとりで食べるという話を聞いて、ずいぶん冷たいと感じた。そういう例があったので、次の職場の相談に乗るとか、いくらか人として配慮があったほうがよかったのではないか。相談に乗ってあげればいいのになと思う。給食を一緒にとくできないか。	外国人だったら、契約があつたら納得すると思う。給食についてはプログラムを組んでいるので、事前にわかればできると思う。本市においてALTを解雇したことはなく、給食も児童生徒と共に食べている。なお、H25年度において県の英語指導助手の配置減があり、中部教育事務所配置も2名から1名になっている。
163	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	道路の草刈について	自分の家のところはかなり傾斜があつて、側溝が下にあるので、この年齢になると難しい。予算は厳しいようだが、刈りやすいようにできないか考えてほしい。場合によっては見ていただいて、なんとか草刈ができやすい形状にしてほしい。	沿道の草刈については、交差点で見通しが悪いところ等は市が直接やっているが、できるだけ、地域の方々にやっていただければと思う。どうしてもという場合は、話を聞いて検討させていただく。多面的機能支払交付金制度を活用できると思うので、協議して対応してもらいたいと思う。
164	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	振興センターの除雪等について	松園振興センターは駐車場が広いが除雪の予算がない。年5回程度(5万円／回)で25万円ほどの予算をお願いしたい。今は小さな除雪機で対応している。また、建物の北側のほうに雪が落ちて隣の家にまで影響するので、雪止めをお願いしたい。	除雪については降雪量の状況にもよるので、必要な場合は指定管理料の見直しも含めて考えていきたい。雪止めについては、冬期の状況をみながら、設置の有無について検討する。
165	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	技術振興会館の補助対象期間について	技術振興会館は補助金で作られたと聞いているが、いつの段階で補助金の対象から外れるのかお聞きたい。	技術振興会館は、二枚橋の第一工業団地、湯本の第二工業団地を作った際に、誘致した企業に勤める皆さんの研修施設として国の補助金で建てた施設で、昭和63年10月に建築してオープンしたも。耐用年数は38年で現在26年経過しており、残りは12年である。補助金6,500万円と起債、一般財源を合わせて1億7千万円ほどで建築した。現時点で用途変更する場合は、まだ補助金の返還が必要。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
166	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	コミュニティ会議の継続について	コミュニティ会議という地域解決型のシステムで動いているが、松園地区はうまく動いていると感じている。ぜひともこのシステムは継続をお願いしたい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
167	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	都市政策課	空き家対策について	全国では昨年10月末の空き家戸数がが820万戸、住宅総数に占める割合が13.5%、岩手県では7万6,300戸で13.7%ということ。今後高齢化社会になるとますます空き家が増え、近所迷惑になると思われる。空き家対策をどうするのか。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
168	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	スポーツ振興課	屋内プールの建設について	市内には通年で泳げるプールがない。歩行訓練や健康づくりのためにも通年で使えるプールを作ってほしい。	建設や維持に係る費用が想定される施設であり、現在建設の計画はない。
169	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	市民登録課	住居表示について	例えば松園四区の松園町で340番地の家の隣が680番地というように全然わからない状況。これから協議会を持ち、なんとか住居表示を進めていきたいので、市の協力もお願いする。	平成27年2月20日に松園4区自治会長、同行政区長が来庁し、2月6日の松園全区連絡協議会で松園全地区そろっての住居表示実施希望に至らず、今後は、松園4区単独の住居表示を検討する旨の説明があった。市としては、地域住民が住居表示のメリット、デメリットをしっかりと認識したうえで判断することが大切なことから、勉強会や説明会などに担当職員を派遣するなど地域の要請に応えていきます。
170	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	市民登録課	住居表示について	これまで生きてきた歴史があるので、住民の中で十分な話し合いが必要だと思う。そのうえで市にも支援していただきたいと思う。	平成27年2月20日に松園4区自治会長、同行政区長が来庁し、2月6日の松園全区連絡協議会で松園全地区そろっての住居表示実施希望に至らず、今後は、松園4区単独の住居表示を検討する旨の説明があった。市としては、地域住民が住居表示のメリット、デメリットをしっかりと認識したうえで判断することが大切なことから、勉強会や説明会などに担当職員を派遣するなど地域の要請に応えていきます。
171	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	避難所までの道路標識について	遠野市には「避難所はこちら」という標識があり、安全と安心なまちづくりのために標識が統一されている。松園四区の場合は、イル・クオーレのところに1か所「避難所」という標識が立っているが、何年か前に消防団の人が設置してくれたもの。それ以来何もしていない。	花巻市内では、合併前に消防で大規模火災が発生した場合の避難所ということで、街なかを中心に47か所に案内看板が設置されている。様々な災害に対応すべき避難所の設定があるので、そこへ誘導する必要がある。特に中心市街地はアパートも非常に多く、自主防災組織に入っていない住民の方も多いと聞いているので、避難所への誘導案内看板が必要だと考えている。まず、市内の実態を担当課が調査し始めたので、配置場所等検証しながら計画的に整備していきたい。
172	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	行政区ごとの指定避難場所割り当てについて	どこの指定避難所にどこの行政区が入るかということが明確にされていない。実際に地震や災害が起きた時、避難所がはっきりしていないと市民がうろたえる。防災計画に基づいてしっかり整理をお願いしたい。	現在、避難所の見直し作業を行っております。
173	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	コミュニティ単位の総合防災訓練について	コミュニティ単位で防災訓練をしてはどうか。小さい行政区単独では総合防災訓練はなかなかできない。コミュニティ単位で実施して避難場所の確認などしっかり整理されれば市民も安心だと思う。	自主防災組織等リーダー研修会において、災害図上訓練を実施し、災害時における活動や、対策など防災体制の構築について検討いただきました。また、避難勧告の基準や情報伝達等についても研修の中で説明させていただき周知を図ってまいりました。(リーダー研修会：H27.2.17～H27.3.23実施済み)また、市内4か所において、地域の災害特性に応じた訓練を予定しております。
174	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	水害について	1日の降雨量が100mm程度であれば琵琶沢川の南側で浅沢と水がぶつかるところや桜台小学校から坂を下りてきたところの水路は1日の降水量が300mmを超すと溢れる可能性がある。水害の心配をしてる人はあまりいないかもしれないが、1日の降水量が多ければ想像を絶することになると思う。	雨量によっては側溝が溢れたり低いところに水が溜まったりして水害が起こるということは認識しているし、皆さんにも認識を持っていただきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
175	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	防災に関するリーダーについて	防災に関して、区長や自治会長などの肩書だけでリーダーを決めつけるのはいかがなものかと思う。相応の訓練や研修を受けた方でないと、大変大きな問題になるのではないかと思う。	自主防災組織等リーダー研修会において、災害図上訓練を実施し、災害時における活動や、対策など防災体制の構築について検討いただきました。また、避難勧告の基準や情報伝達等についても研修の中で説明させていただき周知を図ってまいりました。 (リーダー研修会：H27.2.17～H27.3.23実施済み)また、市内4か所において、地域の災害特性に応じた訓練を予定しております。
176	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	都市政策課	南新田ショッピングセンターの進捗状況について	ショッピングセンターの進捗状況はどうなっているか。	出店予定の10店舗の内、第1工区内に6店舗の建築確認申請が提出されており、概ね平成27年7月がオープン予定と伺っています。 残り4店舗につきましては、未だ情報が入っておりません。
177	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	振興センターの講座について	松園は地の気がいいので気功の講座を秋もやりたいが、春の分しか講師料が出ないのももう少し出してほしい。	振興センターでの講座開設については、地域の皆様方より、多様な内容での開催要望があることから、出来る限り多くの皆様の要望に沿うことができるよう講座の計画的開催に努めている。 (一つの講座だけ予算を増やすことはできない)
178	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	生活環境課	市街地のカラス対策について	花巻はカラスが多い。何か対策はないか。	農林部では農作物等への被害防止のために有害鳥獣の駆除をしています。市役所周辺もカラスが多く、爆竹などで追い払っているが、なかなか抜本的な対策が難しい状況です。東北電力に協力してもらい電線にとまれないようにする方法もあります。 市街地では鉄砲で撃つことはできない区域なので、まずは周辺に追い払うことになり、田園地帯においては駆除しています。
179	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	地域づくり課	花西地区に新たな社会体育館、集会施設を設置することについて	花西地区まちづくり協議会では、以前花西地区に社会体育館及び花西振興センターに代わる新たな集会可能な施設の設置について要望し、市でも前向きに検討していると聞いていたが現状はどうなっているのか。	振興センターについては、老朽化している施設も多いことから、長寿化を踏まえた整備計画を作らなければならないと考えている。花西振興センターもその計画の中で検討していきたい。
180	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	長寿福祉課	特別養護老人施設及び認知症向けの施設整備について	老人保健施設については、デイサービスやショートステイなどが増えているが、特別養護老人施設が少ない。現在100人待ちの施設もあると聞いている。今後の計画はどうなっているのか。また、認知症の方が増えているが、認知症の方のための施設整備は考えているか。	特別養護老人ホームの入所申込者には、複数の施設に申し込まれている方や将来、介護度が高くなった場合に入所を希望している介護度の低い方も含まれている状況です。 平成26年3月末現在、在宅待機でかつ早急に入所が必要な方は93名でしたが、平成26年度に地域密着型特別養護老人ホームが2施設(58床)開設されたことから、相応の待機者の解消が図られたものと認識しています。 また、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする第6期介護保険事業計画においては、入所待機者数の推移を勘案して、特別養護老人ホーム85床分と認知症高齢者グループホーム27床分の整備を計画したところであります。
181	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	総務課	消防団組織の見直しについて	花巻市総合計画の中に「消防団組織の見直し」とあるが、現在、旧町内(第1分団)には屯所が5か所しかない(市内には138か所)。花西地区の住宅も増えてきており、星が丘、桜台、松園を含め、分団の在り方及び屯所の設置についてどう考えるか。また、消防後援会等各地区で分団に対する支援状況が異なる中、市当局で支援の在り方をどう考えているのか。	消防団員の確保や活動内容等消防団の在り方については全国的な課題であり、市でも昨年10月に消防団の持続可能な在り方について検討するため、消防団の組織見直し委員会を発足した。その中で、質問にあったような内容を検討しているが、旧町内(第1分団)については、消防団に加え常備消防でカバーするという考え方もあると思う。また、分担金の有無や支援体制等消防団に対する支援については、地区によっていろいろな形態があることは認識しているが、各地区にお任せしている状況である。いずれ、消防団については、地域の方々と協議しながら、組織見直し委員会で慎重に検討していきたい。
182	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	地域づくり課	まん福の活用について	旧まん福については、市中心部の拠点としての活用を期待して、平成24年度に花西地区で消防用設備改修工事の費用を一部負担した経緯があるが、現状と今後の活用はどうなっているのか。県からOKをもらって進めてきたのに、今年の5月に県の指導で現在の状況では活用できないというのはおかしくないか。活用するとすれば、今後どれくらい費用がかかるのか。	まん福については、中心市街地の振興に資する民間活用ができるよう検討します。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
183	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	生涯学習交流課	旧厚生病院の今後の利用について	こどもの城等の複合施設について旧厚生病院跡地を第一候補として検討していると聞いていたが、ヒ素がでたということで、今後どうなるのか。見通しを教えてください。	こどもの城や500人規模のホールとの複合施設とすることの解消のほか、建設場所や規模なども見直しを行ったことから、関係団体や市民の皆様のご意見を十分に伺いながら、場所や規模などについて検討を進めて行きたいと考えており、今後一定の時間を要するものと考えている。
184	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	花巻図書館	インターネット等を利用した本の貸し出しについて	本を借りに行きたくても様々な事情で借りることのできない人がいる。高齢者でも携帯電話やパソコンなどインターネットを使用する人が増えてきているので、本の貸し出しにインターネット等を使ったソフトの充実を検討してはどうか。	図書館での本の貸し出しについては、移動図書館等で地域に出向いているサービスもあるが、ご提言にあった時代に合ったサービスの拡充は重要と思われる。多くの方が利用できる環境づくりについて検討していきたい。
185	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	秘書政策課	人口減少対策について	人口減少問題に関し、市の考え方を聞きたい。	人口減少については、市でも大きな課題ととらえております。対策としては、大まかに言って出生率の向上と地方から東京への転出を止めることの2つであり、そのために、まず若い世代が市内で安心して働くことができる雇用環境を整え、都会からの移住を促進させるための移住支援や住宅環境整備が必要と考えられます。そのうえで、暮らしの心配をすることなく、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行うことが必要であることから、国の補正予算に対応し、19の事業を平成26年度補正予算に計上しました。今後、平成27年度予算と一体的に実行に移してまいります。
186	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	秘書政策課	人口減少対策について	人口減少問題について、企業誘致だけでなく、市内中心部に高齢者向けの施設を整備するなど都会から高齢者を花巻に呼び寄せる視点もあっているのではないかと。	大迫・東和で市が有する旧教員住宅や農地付き住宅を活用し、地域づくり協力隊や移住希望者に住んでもらうことを考えている。また、空き家バンクにより市内の活用できる空き家を登録していただき、移住希望者にお知らせする仕組みを始めます。中心市街地に高齢者をはじめ、多世代の方が住むことができる住宅の整備などを民間の力も借りながら、考えていきたい。
187	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	防災危機管理課	危険地域のマップについて	8月1日付で配布された危険地域のマップの情報が古く、また見えづらい。まったくっていない。部長は確認したのか。このマップで危険箇所を確認しようと思っててもできない。お金をかけてやるのではなくて、区長など地域のひとと協力してマップを作成したらいいのではないかと。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としております。
188	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	こども課	学童クラブについて①	総合計画のまちづくり基本施策に子育て支援の充実を掲げ、地域と連携した学童クラブの運営を述べているが、中期プランでは学童クラブについて触れていない。総合計画で述べている地域と連携した学童クラブの運営について具体的にどう考えているのかお伺いしたい。	市内の学童クラブは、多くが地域の関係団体の参画をいただきながら組織されている運営協議会等により運営され、地域との関わりが大きいものと認識している。また、地域行事への学童クラブの参加や、地域の方の協力による読み聞かせや遊びの指導などが行われており、このような活動により、地域と連携した運営が重要である。
189	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	こども課	学童クラブについて②	国の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を踏まえた市条例を定めるとあるが、その定める範囲はどういうものか。子ども子育て支援新制度にかかるパブリックコメントを実施していたが、パブリックコメントの取り方について、求めている条項の市の基準のほとんどが国の基準どおりというものになっている。これでは市民は意見の出しようがないと感じる。	10月に学童クラブ代表者会議を開催し、ガイドライン作成についての合意を得て、代表者6名による検討会を立ち上げた。12月及び2月に2回の検討会を実施し、検討項目や項目ごとの統一の可否について協議を行った。協議内容は、各学童クラブから意見を聴きながら、検討会でさらに検討・調整を行い、27年度にガイドラインを策定する予定である。
190	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	地域づくり課	宮野目学童クラブへの通路等について	宮野目社会体育館の裏から学童クラブまでの通路は未舗装で、市に砂利敷を行ってもらっているが、同じところに穴があき利用者からの苦情がある。冬の除雪は振興センター職員が行っているがどこが管轄か。また、小学校との境の排水路に落ち葉が詰まり雨水があふれることがある。	砂利敷で対応した。
191	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	農政課 農村林務課	花巻市の農林予算について	花巻産の農畜産物を積極的に売るという市長自らのトップセールスの姿勢に対し感謝する。農林予算のうち、農業と畜産分野について伺いたい。	当初予算に加え、6月補正で生産施設等整備事業費等に対し約790万円、9月補正で農地有効活用事業費等に対し約2億7千180万円、3月補正で畜産競争力強化緊急整備事業費や水田営農継続緊急支援事業費等に対し3億8千500万円を措置した。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
192	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	農政課	花巻市の農業振興に向けた 対策について	JAいわて花巻農業振興連絡会と農業政策プロジェクトチームへの市の 関わりや支援について伺いたい。	JAいわて花巻農業振興連絡会は、JAいわて花巻管内の農業振興を図 るため、地域農業の振興について市町間での新たな農業・農村政策に 対する意見交換や連絡調整を行っている。 農業政策プロジェクトチームは、JAの役員・職員で構成された組織でJA が関わる農政課題について検討する組織と伺っている。出された課題等 は一緒に情報共有しながら、課題解決に向け検討を続けている。
193	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	防災危機管理課	防災活動中の事故等につい て	自主防災組織の役員をはじめ関係者が住民の安否確認のため訪問中、 あるいは避難誘導活動中に人身災害を受けた場合の救済措置はどう なっているのか。公務災害に準じた扱いができないか。	市が加入している「全国市長会市民総合賠償保障保険」において、安心 して自主防災活動に取り組めるよう、活動中に事故に遭われた方に対し て補償金を支払う制度があり、また、「防火防災訓練災害補償等共済制 度」においては、自主防災組織が主催する防火防災訓練で発生した不 慮の事故による被害者に対して補償する制度もあるので、補償内容等詳 しいことについて、また万が一事故が発生した場合には、防災危機管理 課に連絡下さい。 ※「防火防災訓練災害補償等共済制度」の対象となる訓練は、事前に消 防機関等へ訓練計画書を届出して、認められたものとなる。
194	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	生涯学習交流課	自治公民館整備事業補助金 について	本館地区の借家(アパート等)居住者の方は170世帯、店舗や事業所等 を含め約半数の方から自治公民館整備の協力金は期待できない。 借家(アパート等)居住者の多い行政区・自治会に対し、花巻市自治公 民館整備事業補助金交付要綱に特例を設け、補助金の増額を可能にす ることを考えてもらえないか。	それぞれの地域により実情が異なることは認識しているが、補助率や限 度額の見直しを直ちに行うことは厳しいものと考えている。 県内各市の状況などを調査し、検討していくことも必要であると考えてい る。
195	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	下水道課	下水道事業の進め方につい て	下水道工事箇所・予算が確定後、地元での説明会があり、将来にわたっ て不用と思われる工事箇所があった。事前に地元と相談するといったこ とが必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。	宅地化の見込みがないとのご指摘をいただき、現地を確認し関係地権 者のご意向をうかがった結果、宅地予定のない区間は工事を見合わせ ることとしました。 今後は、地域の方々、関係者とよく協議しながら整備を進めることとし、 当該地区のほか諏訪地区、八幡地区で事前に説明会を開催し、関係者 の意向を確認して整備に取り組んでおります。
196	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	都市政策課	空き家対策について	空き家は火災や引き込みなど事件の温床になっていると思う。当地区で も数か月にわたり空き家に入出入りする人物がおり、警察の力を借りて解 決した事例も起きた。 空き家の処分が進まない理由に、空き家を壊し更地にすると固定資産税 が6倍に増えることからとも言われている。 市ではどのような対策を取っているのか伺いたい。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に 併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基 本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りなが ら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他 市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策 計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。 なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策 課までご連絡ください。 固定資産税については、特定空家等に指定された場合、その建物を壊し ても壊さなくても、平成28年度課税分から住宅用地の軽減(1/3,1/6)が 無くなることになりました。
197	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	道路課	小舟渡矢沢線の歩道整備に ついて	小舟渡矢沢線下似内地区の歩道整備については、両側歩道3.5メートル の計画で変更はないか。また、現在の進捗状況を教えていただきたい。 朝晩の通勤ラッシュも大変な状況、早期に歩道を作っていただきたい。	当該路線は都市計画道路であり、現道の両側歩道3.5メートルで整備を 進める計画となっております。 現在、太田橋、豊沢橋や湯沢野排水路などの大型事業や継続しいる事 業が多く、事業費の確保が困難な状況でありますので、北側の歩道から 1工区約200mとして4工区に分けて進めることとし、今年度は第1工区 の用地測量を終えており、来年度に第1工区の支障物の補償を行いま す。 なお、事業推進に向けて国の予算確保に努めて参ります。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
198	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	小中学校課	学校給食の食材について	学校給食の食材は、米については地元産が供給されていると伺っているが、野菜、果物類は使われていない。子供たちにぜひ地元産の旬の野菜、果物を食べさせたいので、学校給食の食材に使っていただけないか。 給食センターで地元の食材を使っているところは何か所あるか伺いたい。 地元の食材を子供たちに食べてもらいたいので、やり方を工夫するなど検討していただきたい。	直接に産直と契約し、放射能の測定も行い地元産を使っているのは東和の給食センターで、大迫も一部地場産品を入れている。 学校給食の場合、かなり前に献立を作り、まとまった量を納入していただく必要があるので、すべての給食センターで可能かわからないが、給食センターの栄養教諭の方と協議するなど検討したい。
199	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	道路課	防雪柵の整備について	宮野目中学校からたもり空港店までの道路は、冬に除雪をしても吹き溜まりができ子供たちが通学に苦労している。 防雪柵を作っていただけないか。回答はいらない。	現在、当該路線の西側にある市道材木町下二枚橋線の防雪柵工事を実施しており、まずは、この路線の完了に努め、その後に当該路線を実施する方向で検討します。
200	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	総務課	活力あるまちづくり表彰について	活力あるまちづくり表彰の地域振興部門において、5名の前コミュニティ会議の会長が表彰を受けるがその基準は何か。 宮野目地区のコミュニティ会議会長は3期5年務めたが対象とはならないか。	活力あるまちづくり表彰の基準は10年であるが、今回の表彰では、コミュニティ会議の立ち上げにご苦労いただき3期6年以上務めていただいた5名の前会長さん方を特別に基準を緩めて表彰するものである。
201	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	観光課	宮沢賢治を活用した観光について	賢治さんを活用した観光は1泊2日くらいでどっぷり浸かってもらうような内容にしないと観光客はこないのではないか。宮沢賢治記念館を見て終わりでは産業にはならないと思う。記念館などの施設見学もいいが、賢治さんのものを表現している童話劇、獅子踊り、神楽なども見れるような内容にしてはどうか。 食べ物も魅力的でないとお金を出してくれない。お土産も花巻のお土産といえばというものを開発しなければならない。そのような観点から考えていかないと産業としての観光が成り立たないのではないか。 また、SLを使った広域的な観光も考えられるかもしれない。	広域観光については、県南広域エリアの観光担当課長勉強会、同じく観光担当若手職員の意見交換会のほか、釜石線沿線自治体とJR東日本盛岡支社で構成する釜石線沿線活性化委員会、(一社)花巻観光協会を經由して平泉、遠野の各観光協会と、今後も検討を続け様々な取り組みを進めたい。
202	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	秘書政策課	矢沢地区の位置づけについて	平成の大合併により矢沢が花巻市の東西の中心となった。旧花巻市の時と位置づけがどう違うのかをお聞きしたい。 旧花巻市の東側にあった矢沢と位置づけが変わるのか。	物理的に中心であることは物理的に中心になったから新市の中心の地域として、旧市街地に代わってこちらに中心を持つてくるという考えは今はない。花巻市の人口が今は増えるということはないという時に、新しい市街地を作る体力が今の花巻市にあるか。また、市役所が今の場所から新花巻駅前に移った場合、今の旧花巻の市街地が間違いなく衰退する。それでいいのかということ。大事にしていく必要があると考えている。人口が減少していく中で、新しい市街地を作って旧市街地を見捨てる方法はないと思っている。
203	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	こども課	学童クラブの充実について	矢沢小学校の入学数は徐々に減っているが、矢沢学童クラブに入りたい児童は年々増えている。働く保護者が増えているので、学童クラブを充実させることが子育て支援、安心して産み育てる環境への一助であろうと思う。そのことについて考えをお聞きしたい。	学童クラブは、子ども・子育て支援新制度の地域子ども・子育て支援事業の一つに位置付けられており、子ども・子育て支援事業計画において、小学校区単位の利用の見込みと確保方策の数値を設定したところである。今後は、利用の実際の推移を見ながら、計画の着実な推進を図ってまいりたい。
204	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	商工労政課	工業団地の造成について	せっかく誘致しようとしても土地がないという話があったが、現状の市の工業団地に限った話なのか、新たに別な適当な場所に団地を造成する予定があるのか。これまでは市の西側に団地が造成されていたが、ぜひ矢沢地域に企業誘致をお願いしたい。	新工業団地等整備計画は平成26年度末に策定完了しますが、候補地の選定にあたり矢沢地区は入っていません。 【平成27年3月末完了】
205	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	生活環境課	太田油脂の公害について	太田油脂の公害について、現在の考え方をお聞きしたい。	少しずつ臭いは減ってきていますが、会社にてできることをお願いして少しでも減らしていけるように取り組んでいます。太田油脂があるという前提で臭いを減らす方法を考えなければなりません。
206	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	農村林務課	鳥獣被害対策について	リンゴの専業農家で、最近、鳥獣被害がひどく、今一番困っているのはハクビシンの被害。リンゴばかりでなく、家庭菜園のメロンやスイカなどの被害もある。市で罟を貸し出しているそうだが、捕獲した場合の処理はどうすればいいのか。被害や矢沢地区だけか、ほかの地区でもあるか。	有害獣対策として、平成26年度当初予算の126万円に加え、9月補正で210万円を増額補正した。
207	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	生活環境課	爆音機の使用について	以前は爆音機でカラスを追ひ払っていたが、周囲から苦情があるようで市の生活環境課からやめてくれと言われている。民家周辺でなく山際でだけでも使えればいいのだが。	爆音機の使用を規制する法律及び条例がないことから、周辺の住環境に影響を及ぼさないよう使用することは可能ですが、周辺の方から苦情がある場合は、使用の中止や方法の見直しをしていただくようお願いしております。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
208	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	防災危機管理課	土砂災害の危険度について	広島で土砂災害があったが、花巻市でもその危険度を把握しているのか。 土地の利用方法、建築確認も含め行政でしっかり対応してほしい。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としております。
209	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	農政課	定住人口について	花巻の基幹産業である農業でどのように定住人口を増やしていくか伺いたい。 【提言】 疎開先として花巻がなるように、予算を使い農地を整備して、震災等で花巻にいる人などを積極的に呼び込み30年程度住んでいただけるような施策をやっていただき、定住人口を増やすということも考えられると思う。	市のホームページ、県・農業関係団体が開催する新規就農希望者を対象とするセミナーや相談会を活用し、花巻市をPRするとともに、青年就農給付金制度の周知を図りながら新規就農者の確保に努めている。 また、新規就農者への新たな支援策をH26年度3月補正予算で予算化したことから、今までの取り組みに加えてさらに確保対策を進めるほか、東和農村滞在施設の使用料を見直し(減額)、利用しやすい環境を整えている。
210	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	道路課	6次産業の取り組みとその拠点となる道の駅設定について	農業振興策として、担い手の育成や6次産業化の取り組みが重要である。特に6次産業化の拠点(湯口、太田、笹間地区などの西南3地区)として、道の駅の設定等をこれまでに要望しているが、今後の進め方を示してほしい。	西南地域振興協議会において、地域住民への「道の駅」に関するアンケート調査を実施し、この調査結果をもとに地域が望む道の駅の姿をご提案いただくことがっており、提案を受けた段階で検討会を開催し、構想策定に向けた検討を行う。
211	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	商工労政課	観光リング園跡地を工業団地として活用することについて	定住人口の確保に向けた具体的な施策として、観光リング園跡地などの耕作放棄地の活用策として、仮称第4工業団地の設置(第1から第3工業団地までは埋まっている)を検討してはどうか。	新工業団地等整備計画は平成26年度末に策定完了しますが、候補地の選定にあたり当該地は入っていません。 【平成27年3月末完了】
212	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	都市政策課	太田地区の公共交通について	清風支援学校への通学定期バス、小学校のスクールバス、また、高村光太郎記念館への観光バスは乗り入れがあるが、定期的な路線バス運行がないため住民、特に高齢者のために定期的な路線バスの運行を確保してほしい。	路線バス廃止後に実施したデマンドタクシーの試験運行が、低利用により廃止となった経緯からも、路線バスの拡充は困難と考えられますが、高村光太郎記念館のリニューアルに伴い、観光誘客も視野に入れ、再度路線バスの運行について検討を行ってまいります。
213	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	道路課	清水寺前の道路側溝について	姥宿公民館前の道路約30mくらいに側溝が入っていないところがあり、雨が降ると水があふれている。昨年度の市政懇談会でも要望していた。	10/22に要望者に確認したところ、以前からの側溝整備の要望と、姥宿公民館の排水処理についてであったので、区長に側溝整備要望は地域からの土木施設整備要望の検討と、公民館の排水処理については地域で対応するようお願いした。
214	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	スポーツ振興課	太田球場の整備について	太田球場の外野フェンス、ダックアウト、クラブハウスの老朽化となり、安全面を考慮しながら小さい修繕を行って使っている。スポーツ振興課にもお願いしてきたが、大きな修繕は市にお願いしたい。	平成27年度に補修予定。
215	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	地域づくり課	コミュニティ会議の今後の方針について	コミュニティ会議に関し、新市長の今後の方針を伺いたい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
216	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	防災危機管理課	土砂災害について	災害があった時の避難場所等について計画があるか伺いたい。	現在、避難所の見直し作業を行っております。
217	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	船着場付近の環境整備について	向田瀬と中通に舟が通っていた頃の船着場があるが、何十年も整備されていない。誘客の一つのスポットになると思うので、少しでも整備していただきたい。 最初に道路をきれいにしておく地主の方も協力するのではないかと。	12月9日に通路(延長150m)の環境整備(支障木除去・倒木処理・笹刈払い)を完了済みです。 2月23日に老朽化した既存看板を新しい看板に修繕、完了済み。
218	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	県道下宮守田瀬線の道路改良について	改良舗装工事が途中で止まっていて、田瀬ダム堰堤から宮守側約1,300mと田瀬側約600mが未整備である。堰堤工事の際の工事道路を現道舗装ただけで非常に狭く、乗用車同士がすれ違えない場所がたくさんあるし、大型トラックなども頻繁に走り交通量が多い。なんとか県に道路整備を働きかけてほしい。	平成26年11月26日、花巻土木センターから「要望区間の整備については、県全体の道路整備計画の中で公共事業予算の動向等を見極めながら検討するが、早期の事業化は難しい状況」との回答があった。 市としても、国道107号と国道283号の連携軸となる重要な路線であると認識していることから、今後も引き続き要望する。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
219	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	県道花巻田瀬線の改良について	谷内峠は、勾配がきつくカーブも多いので、冬期間は日陰で雪や氷が溶けないので滑って危険である。谷内峠をトンネル化する話もあったが、何か対策はできないか。	平成26年11月26日、花巻土木センターから「県全体の整備計画の中で公共事業予算の動向を見極めながら検討するが、早期の事業化は困難。冬季間は除雪、凍結防止剤の散布により交通の安全確保に努める」との回答があった。
220	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	文化財課	伊藤家住宅のトイレについて	市の委託を受けて伊藤家住宅を管理している。多いときはバスで70名ほどの見学者が訪れることもあるため、固定のトイレを整備してほしい。現在は簡易トイレを設置しているがだいぶ老朽化している。また、大型バスが来てもUターンが難しいので、駐車場を整備してほしい。(現在ある防火水槽の横に碎石を敷くなど)	・平成27年度仮設トイレについては、仮設トイレを新設置できる見込みとなった。 ・駐車場整備については、業者より側溝の改修を伴う旨報告を受けている。利用状況を再度調査したい。
221	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	田瀬ダム竣工60周年に対する市の対応について	関係機関の協力を得て、田瀬ダム完成60周年記念プロジェクトを進めている。田瀬地域が主体となって田瀬ダム移転のつどいを9月7日に開催する。関連事業で記念誌を発行する予定だが、国の補助金もなく移転者に協賛金をお願いしている。市としては、どのような取り組みを考えているのか。60周年を機会に、環境保全、福祉向上に積極的な取り組みをお願いしたい。	田瀬ダム60周年に出席。 田瀬の振興全般について、田瀬湖振興公社等関係者と新年度から支所を中心とし意見交換、協議を重ねていくこととしている。
222	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	田瀬地域の再生について	このままでは田瀬という地域がなくなる。なんとか若い人が残って生活できる状態にしてほしい。	田瀬の振興全般について、田瀬湖振興公社等関係者と新年度から支所を中心とし意見交換、協議を重ねていくこととしている。
223	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	国体推進課	国体に絡んだ動きについて	H28年に国体が開催されるが、何か動きがあるか。	国体の開催に伴って、道路等ハード面での大きな整備予定はない。
224	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	向田瀬線の道路改良について	H28年の国体で田瀬湖がボート競技の会場になり、全国から大型バスが訪れると思うが、すれ違いが困難な場所は道路の拡幅をお願いしたい。	待避所有りの案内看板及び、見通しの悪い個所の注意喚起看板等の設置については、来年度に設置します。
225	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	スポーツ振興課	海洋センターのトイレの洋式化について	海洋センターのトイレは男女とも和式のため、若い人たちは使いづらいと思うので、洋式トイレに直してほしい。	平成27年度に改修予定。
226	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	都市政策課	予約乗合タクシーの利用方法について	予約乗合タクシーについて次のことをお聞きしたい。 ①田瀬からほかの地域に転居した人が田瀬に行きたいときは使えるか。 ②田瀬からいったん土沢に行き、そこから小山田線や中内線を利用できるか。 ③東和荘にはとまれないのか。	①田瀬地域内の指定乗降場所までのご利用は可能です。 ②予約乗合タクシーは複数の方の乗り合いとなりますので、予約の状況に応じて乗車時間が変わります。時間帯によっては利用できる場合と利用できない場合がございます。 ③現在は指定乗降場所ではありませんので止まれません。 なお、平成26年度に開催しました意見交換会での御意見も踏まえ、既存路線・ダイヤの見直しや新たなサービスの導入等に係る地域公共交通網形成計画を平成27年度に策定予定でありますので、デマンドタクシーの利用し易い方法等についても併せて検討いたします。
227	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	小中学校課	東和中学校のクラス数について	子どもが耳が聞こえないため東和中学校で特別支援学級に通っている。現在1年生は82人で3クラスあるが、2年生になると2クラスになる。特別支援学級の子どもも普通学級に入って勉強しているので、勉強についていけなくなると学校に行きたくなくなるのではないかと心配している。事情を考慮して来年も3クラスでお願いしたい。	中学1年生は少人数指導ということで35人、2年生からは40人のクラスになる。通常の学級と一緒に勉強する時は、ふれあい共育推進員を配置するなど学校とも協議する。
228	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	秘書政策課	ふるさと納税のセールスポイントについて	花巻市のふるさと納税は何をセールスポイントにしているのか。これからどれくらい力を入れていくのか。	平成26年7月から寄付をいただいた方に市内の農畜産物や加工食品などを中心に29品目の中から記念品の贈呈を始めました。 平成27年度は農畜産物や加工食品の品数を増やすとともに、花巻市の強みである温泉や飛行機を活用した記念品、市内製造業者の工業製品などを加え、品数を145品目として、花巻市のPRに努めてまいります。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
229	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	地域づくり課	市政懇談会の回数について	今日のような企画は年に何回あるのか。	市政懇談会は、H27年度も27地域を年1回づつ開催いたします。そのほかには、「まちづくり懇談会」、「総合支所管内の地域住民との対話」、「市長へのはがき・メール」など様々な手法により、市民の方々から意見や提言を聴く機会を作っていきます。
230	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	都市政策課	都市計画道路の整備について	道路整備について山の神大谷地線について、道路幅が2m弱ということで生活道路、通学路として利用されている。 道路の拡幅工事をお願いしていたが花南開発計画の山の神、諏訪線ということで、南病院にぬける都市計画道路がまだ消えていないというお話があったことから、この都市計画の今後の計画等についてあるいは花南の今後の都市計画についてお聞きたい。	都市計画道路につきましては、平成22年度から見直しを進め、平成25年度に10路線、平成26年度に7路線を廃止・計画変更を行いました。 この地区におきましては、桜町諏訪線、山の神若葉町線、南城桜町線を廃止しましたが、南城桜町線につきましては、今後、交通安全事業として歩道の整備をしてまいります。 また、山の神諏訪線の新設につきましては、来年度から測量調査に入ります。
231	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	都市政策課	ふくろう号バス停について	ふくろう号のバス停留所に長椅子を置いていただけないか。椅子に市役所名をしっかりと明記することで、市民に優しい行政、信頼できる行政と評価が上がるのではないかとと思う。	現地調査をした結果、市役所本庁、イトーヨーカドー、花巻駅等の12カ所については既に長椅子等を設置済みですが、歩道が狭い等の理由で設置が困難な5カ所を除く12カ所について、設置の検討を行います。
232	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	秘書政策課	北上中部地方拠点都市地域 の花巻南産業文化交流拠点 地区について	昨年7月に北上中部地方拠点都市地域推進協議会が解散したと新聞に載っていたが、花巻南産業文化交流拠点地区の計画について、当初は全戸に計画書を配布した。協議会が解散して、今後どのように事業を引き継ぐか、あるいはどの程度終わったかを知らせる必要があると思う。	同協議会は平成25年9月末をもって解散いたしました。 計画した事業のうち、事業開始後の社会経済情勢の変化により、着手に至らず終了した事業については、現在のところ市単独で実施する予定はありませんので、あらためて広報により市民の皆様にお知らせすることは考えておりません。 なお、市ホームページにおいて、その旨を周知したところです。
233	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	契約管財課	市場建設時の拡張用地について	昭和40年代に山の神に市場を建てる時に相当広大な土地を買っている。新聞記事に必要以上の土地を買ったという記事が何回も出た。相当広大な土地が40年間もそのままになっている。 前の市長からは今地価が安いから売るつもりはない、職員からは市場として使う予定はないと聞いた。今後あの土地をどのように利用していくのか、あるいはどのように処分するのか、もう少しきちんと住民に知らせてほしい。農業経営者から農地を買ってただ放置しているわけだから、今後の活用策についてどうなのか。	当該土地については、集会施設用地、スポーツ少年団サッカー練習場、ゲートボール場として地域に活用いただいております。サッカー練習場はH27年度から他の場所を使用することになりますが、当該地を市として活用するまでの期間は、引き続き草刈り等の管理を行って参ります。
234	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	都市政策課	空き家対策について	空き家というよりも廃屋と言えらと思うが、草に囲まれて管理されていない家が相当ある。市では今後どのように対応していくのか。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。 なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
235	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	地域づくり課	コミュニティ会議の効率化について	コミュニティ会議は、市の行政の延長線上にあるのか住民の認知度が低い。特に道路行政は市がやるのかコミュニティがやるのかわけが分からない状況である。こんなことまで税金を使ってやらなければならないのかと疑問に感じることもある。 2億円という金がかいた金じゃないと思う人もあれば大きいと思う人もあるのだから、効果的なコミュニティ会議にすべきだと思う。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
236	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	総務課	副市長の役割について	前市長の時に、市民には何の説明もなく副市長を2人にした。副市長がどんな仕事をしているか市民には分からないので、どんな仕事をしていて市長にとってどうなのか知りたい。	これまでは市長、助役、収入役の特別職が業務を分担してきたが、平成19年4月から副市長2人制にして3名の特別職が業務を行っている。
237	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	総務課	市職員の給料について	市長が就任してから三役の給料を減額すると広報に掲載された。それに対して市職員の給料が岩手県内の他市と比べて少ないということだが、どこ基準で少ないか市民に対して報告がない。職員の給料は下げるつもりはないか。	国家公務員と比較した給料水準は県内14市のなかで最下位という状況である。現在のところ職員の給料については下げる予定はない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
238	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	地域づくり課	市長へのはがきについて	前市長は市長に対して苦情などあれば、はがき等で出すようにとのことだったが今も継続しているか。 前に総務課に電話したことがあるが、電話による苦情等も市長まで伝わるのか。	市長へのはがき・メールにつきましては、気軽に意見・提言をお聴きする手法として、H27年度も実施していきます。
239	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	契約管財課	市庁舎敷地の管理について	庁舎周り(鐘つき堂付近)の草刈り・草取りなどで、大きなところは業者にお願いと思うが、少しの面積は職員でできるのではないかと以前電話したことがあるが、市長に伝わっているか。伝わっているならばすぐに綺麗になっていてもよかったのではないか。 草刈りでも除雪でも自分の家の周りは自分できれいにするものだ。勤務中にやれと言っているのではなく、市長から声掛けして職員が朝少し早く出ればできるのではないか。	市長に伝えてくれという話は全部報告されていると思うが、そうでないものは伝わっていない可能性もある。 草刈りや除雪については、市長が職員に言ったら命令になる。職員が早く来てやってもいいというなら有難いと言うが、市長の立場で職員に指示するつもりはない。
240	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	道路課	不動産根子線の歩道設置について	不動産根子線の歩道設置についてお願いしてから10年以上経っているがどうなっているのか。	市道不動産根子線の歩道整備につきましては、平成25年度に測量設計を終えており、平成27年度から工事に着手します。
241	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	観光課	花巻まつりの日程について	花巻まつりの日にちが毎年変更になる。地区の祭とぶつかったりするので日程を確定してほしい。東北3大(4大)まつりは日程が決まっていて、どのまつりも必ず平日が入る。日程が決まっていたほうが観光客も来やすいはず。	3/23に開催した花巻まつり実行委員会総務部会に諮ったところ、「平日では観光客が少ないことから現在の日程になったはずであり、以前の固定日に戻した場合はもっと観光客が減るのではないか、また、山車や神輿への参加者も減ることが予想される」との意見であったため、日にちの固定化については現在では考えていない。
242	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	地域づくり課	コミュニティ会議予算について	コミュニティ会議の予算は大幅に削減するべき。むしろ廃止した方がいいと思っている。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
243	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	下水道課	下水道工事にかかる説明について	家の前の下水工事について去年説明があり、その時は3月までに終わる予定ということだったが、前に埋まっている水道管を移動させなければならぬということで、今やっと下水工事が始まった。上水道が北上と紫波と一緒になったから遅くなったということだったが、合併することは前から分かっていたのに、なぜ前にやらなかったのか。 担当者からは、前の人はどう言ったか分からないが今回はこうだという説明だけされるが、前の職員が次の職員にしっかり説明しておくべきではないか。今後このようなことがないように進めてもらえないか。見通しがなさすぎる。	この工事は、発注後に道路境界が現況と食い違う箇所が見つかり、その影響で水道管の移設が必要となったものでした。 移設をお願いする時期と水道企業団の統合時期が重なった結果、移設に不測の期間を要し、住民の皆様にご迷惑をおかけしてしまい深くお詫びいたします。 後日、発言者と関係行政区長へ工事のお詫びと経過の説明を行い、今後は工事の内容に変更が生じる場合は、事前に住民の皆様にお知らせすることを説明し、了承をいただきました。 また、当該工事の工期の変更について地域の皆様にチラシを配布して周知し協力をお願いしました。 なお、当該工事は平成26年12月15日に完了しております。 同様に工期や工事区域が変更となる場合は、変更工期の長短や規模、関係者数などの状況に応じて周知とお願いを行っております。
244	H26.10.2	市政懇談会 (H26)	花南	長寿福祉課	高齢者対策について	花巻市の高齢者に対する対策をどのようにしているのか。教えていただきたいし勉強したいしその中で企業として商品開発していきたい。資料を後程お渡ししたい。	高齢者に関する提案は、多くの企業から様々な内容で寄せられており、今回のご提案についても、今後の高齢者福祉サービスを検討していく中で、参考の一つとさせていただきます。
245	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	防災危機管理課	大規模土砂災害時の避難勧告等の伝達について	広島で発生した大規模土砂災害が亀ヶ森地区にも起きた場合、避難勧告の伝達方法を市でどのように考えているか伺いたい。	土砂災害警戒区域等の指定を受けた湯口・湯本地区にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対して、1台防災ラジオの無料貸し出しを行っております。(H27.2月～3月 湯本・湯口振興センター等にて実施済み) また、今後土砂災害危険箇所にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対しても、無料貸し出しを行ってまいります。 H27.2に花巻市避難勧告等発令・伝達マニュアルを見直し、災害時の情報伝達方法を具体的に定めております。
246	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	防災危機管理課	防災マップの作成・配布について	昨年8月9日に亀ヶ森地区で土砂崩れにより1名死亡したが、危険箇所のマップはあるのか。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としております。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
247	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	生活環境課	次期産業廃棄物最終処分場候補地について①	8月12日の岩手日報に掲載された産業廃棄物最終処分場候補地に関し、場所・安全性・リスクについて伺いたい。	平成27年3月24日に岩手県は、次期最終処分場の建設予定地を八幡平市平館柁沢地区とし、八幡平市と確認書を締結したところです。
248	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	生活環境課	次期産業廃棄物最終処分場候補地について②	産業廃棄物最終処分場が建設された場合、北上川の水質や放射性物質などのリスクが心配である。	平成27年3月24日に岩手県は、次期最終処分場の建設予定地を八幡平市平館柁沢地区とし、八幡平市と確認書を締結したところです。
249	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	農村林務課	空き家の松くい虫による枯木について	自分の住んでいる地区にある空き家、もしくは高齢者世帯の家で松くい虫の被害木がある。他の地区でも同様の事案が出てくると思われるが、この件について行政でどのように考えているか。	以前、支所に相談いただいた件については、現地を確認している。所有者宛に書面で建物管理についてもお願いしている。 松くい虫被害は花巻地域や東和地域が大きく、大迫地域は境界区域内なので国の補助を受けて処理することができる地域だが、被害は拡大している状況。民家の松くい虫被害については、基本的には所有者の方の処理となるが、近隣の方や道路などに危険が及ぶ場合、緊急性があれば承諾を得てすぐ伐採する。伐採についても作業する人が少なく難しい状況である。
250	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	都市政策課	空き家対策について	自分の住んでいる亀ヶ森1区は約1割が空き家である。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
251	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	教育企画課	県立大迫高等学校生徒確保対策について	盛岡に住んでいる大迫高校OBの友人から大迫高校生徒確保に関連して、いわゆる醸造学科のような全国にも類のない珍しい学科を創設し、全国から生徒を募集すれば定住人口の増加につながるのではないか、という提案があった。当市はワイン工場や造り酒屋もある。全国から募集すれば、定住にもつながるかもしれない。地域の要望として検討していただきたい。	高等学校で酒造りをしている事例は全国でいくつかあるが、そのほとんどが農業または食品科学等、酒造りに関連性がある学科またはコースで実施されており、普通科しか設置されていない現在の大迫高校で専門的な学習や研究に取り組むことは難しいと思料される。また、県教委に醸造の専門学科の設置を要望するにしても、学区内・岩手県内の生徒にどの程度の需要があるか不明であり、具体的な要望事項とはならないものと思われる。
252	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	秘書政策課	人口減少対策について	若い世代の人口を増やすには、土地購入や住宅新築などに係る税金の軽減や農地転用の簡素化など、住宅面での方策を考えていただきたい。	花巻市への移住希望者が市内で住宅を建築・購入する際の支援を行うほか、市内の空き家を登録していただき、移住希望者に紹介する空き家バンクを実施いたします。
253	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	観光課 大迫総合支所地域振興課	早池峰山登山者が利用する入浴施設の設置について	早池峰山の登山シーズンである6月から9月ごろまで、登山者が利用できる入浴施設や土産店などを早池峰ダムの施設に設置してはどうか。	土産店については、道の駅(ベルンドルフプラッツ)を利用して、H25年度から試験的に開設したところ一定の実績が見られたため、H27年度からは土産物等、物産販売の体制を整える。 入浴施設については、峰南荘やホテルステイヒルを利用していただきたいと考えており、道の駅への設置は考えていない。
254	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	道路課	旧市町境の地名表示について	市内に住んでいる方で、大迫を知っていても亀ヶ森を知らない方がいる。以前も話したことがあるが、旧市町境に地域名を記した看板を設置してはどうか。	道路管理者が設置する場合は道路標識設置基準による標識であれば可能であり、道路管理者以外の者が設置する場合は、占用申請することにより可能であります。
255	H26.10.6	市政懇談会 (H26)	亀ヶ森	生活環境課	公害防止協定について	長い間地域の公害対策運動を行っているが、7月に花巻市と養豚関係者との間で公害防止協定を締結していただいて感謝する。	平成26年7月22日付けで花巻市と養豚事業者間で公害防止協定を締結したものです。
256	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	道路課	河川護岸工事について	災害時自主避難所として中乙生活改善センターを指定しているが、施設が河川(小又川)に隣接し危険である。公共施設でもあるため、速急に護岸整備をお願いする。 それに関連し、災害時自主避難所の古川集落センターにおいても、小又川護岸が低く危険であるため速急に嵩上げ整備をお願いしたい。	11/26に行われた花巻土木センターとの打ち合わせ会において要望を行ったところ、浸水被害が発生していないことから、河川巡視を行い現地の状況を注視して行くとの回答をいただいております。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
257	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	防災危機管理課	災害時自主避難所について	避難所は川に近く、水が出れば危険。近くに体育館があるが、いくらかは川から離れている。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としており、避難所の見直しについても現在作業を行っております。
258	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	道路課	排水路整備について	古沢が増水の都度古沢2号線が吸収しきれず氾濫し流域が浸水する状況のため、排水路の整備をお願いします。大迫生コンから川原町にかけて一般家庭まで浸水し、増水の度に土囊を積んでつかえというような状況。	古沢の水が流入する川東水路については、現地調査の結果、山の斜面からの雨水流入もあり、氾濫しやすい状況であることを確認しております。このことから、計画的に整備を進めるため、まずは、来年度から住宅等に被害を及ぼしている川原町部分の測量調査に着手し、順次改修を進める予定です。
259	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	道路課	林道作業のための市道開設について	林道作業ができない状況のため市道開設をお願いしたい。平成16年頃完成したシノムネヤマ線から先の部分が切られており、その先の赤線に出られない状況。	10月28日に発言者と現地確認。 赤線を利用した市道整備につきましては、保安林の解除手続きが必要なことや地形的に工事費用が多額となることから利用形態からみて困難ですが、現在、県と市とで今後の林道事業計画の検討をしているところであり、採択の確約は出来ないが、要望箇所に加えることで了解を得た。 なお、樹木伐採のための作業道につきましては、個人で県から許可を得て開設することが可能なことも伝えた。
260	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	防災危機管理課	自主防災組織に対する支援について	自主避難所に対する発電機の配置をお願いします。	地域づくり交付金の見直しにより、防災資機材等の助成基準が定められたことから、この交付金やコミュニティ助成事業を活用していただきたいと考えております。 また、本年2月から3月にかけて、振興センター単位での自主防災組織等リーダー研修会を開催しており、今後も自主防災組織との意見交換や研修の機会を設けていく予定としております。
261	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	生涯学習交流課	公園遊具整備について	児童公園の遊具が撤去されて以来、設置されていないため安全な遊具の設置をお願いします。 どんな遊具の設置を考えてもらえるのか。	遊具を設置済(平成27年3月20日完了)
262	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	都市政策課	空家の状況について	市内における空き家戸数はどれくらいか。今後増えていくと思われる。	各行政区長等から情報提供を受けて調査した市内の空き家件数は、3月末で374件です。そのうち、建物や環境が著しく不良なものが53件、建物や環境が不良なものが101件、特に問題ないものが210件となっています。 また、建物所有者の所在が判明している物件273件について「建物等管理のお願い」文書を送付した結果、27件が除去され、1件が除却準備中となっています。
263	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	都市政策課	空き家解体費用の援助について	空き家の火災、倒壊、美観等のため解体を行う場合の解体費用の援助を願います。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。 なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
264	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	道路課	県要望について(稗貫川河川敷の立木伐採)	稗貫川河川敷(立石地区)の立木が巨木となり、台風等での災害が予想されるため、早期の伐採するよう岩手県に要望をお願いします。	県の花巻土木センターに問い合わせしたところ、立石地区の立木については、川岸付近にあり、洪水の速度を弱め、川岸の洗掘を防止する効果もあるものと見られるが、支障となっている立木については、地域の皆さまと相談し除去したいとのこと。 今年度、枯れた木を1本切った。来年度も何本か切る確約をいただいている。
265	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	道路課	県要望について(治山ダムの設置と流路整備)	沢川が昨年8月の豪雨で氾濫して農地流失及び住宅の浸水など甚大な被害をもたらしていることから、県に対し治山(砂防)ダムの設置及び流路整備について地域の防災対策のためにも要請をお願いします。	県からの回答によると、県では大迫地区において土砂災害防止法に基づく基礎調査を順次実施しているところだが、ご要望の沢については未調査だったので来年度の調査を実施するとの回答。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
266	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	農政課 農村林務課	若者の就労場所の確保対策について	若者の定住化における施策として就労場所の確保が必要であり、大迫地域への企業誘致を重要課題として捉え、施策を実施するよう提言する。	市のホームページ、県・農業関係団体が開催する新規就農希望者を対象とするセミナーや相談会を活用し、花巻市をPRするとともに、青年就農給付金制度の周知を図りながら新規就農者の確保に努めている。 また、新規就農者への新たな支援策をH26年度3月補正予算で予算化したことから、今までの取り組みに加えてさらに確保対策を進めるほか、東和農村滞在施設の使用料を見直し(減額)、利用しやすい環境を整えている。
267	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	こども課	乳児の保育園入所について	子どもを産んでも仕事を辞めないで就業したいので、産休明けすぐに仕事をする母親が増えてきていることから、保育士や施設の強化を提言する。 大迫地域では0歳児の受け入れは施設の関係から受け入れられず、石鳥谷まで預けにいった方もある。保育施設、保育士数の充実をはかるなど考慮いただき、安心して預けられる環境を作ってもらいたい。	平成27年度4月入所希望の状況 0歳2人 1歳4人 2歳5人 4月の入所内定にあたり、市全体の入所希望に配慮しつつ、保育士の適正配置に努めたところである。 保育士の確保が困難な状況が続く中で、今後、年度途中の入所希望を見込むとともに、引き続き、保育ニーズ量にあわせて適正な保育園の整備について検討し、保育士の適正配置ができるように努めていく。
268	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	教育企画課	大迫中学校の改築について	(市からの説明のみ)	・大迫中学校の改築について、大迫地域の各団体、住民と協議を重ね、市としても十分に検討した結果、現大迫中学校の敷地で事業を進めたいという考えをまとめ、10月27日の定例記者会見及び市議会議員への情報提供、11月1日の大迫地域各振興センターだよりにより公表、周知を行った。 ・11月末には進捗状況、26年度事業内容について議員説明会、大迫地域住民説明会で報告、説明を行った。 ○11月中旬から27年1月末までに「大迫中学校改築検討会(構造に関する検討)」を5回開催し、木造、非木造の比較を中心に構造に関して検討している。その経過や意見を整理し、2月から3月に市議会議員、大迫地域の学校関係者、地域住民に説明することとしている。 ○1月17日に学校施設見学会を実施した。 ※大迫地域の小中学校、保育園の保護者を対象に案内。市内の最新施設の2校(非木造)と遠野市内の木造校舎2校を見学し意見をいただき、改築検討会(構造関係)でも参考意見とした。 ○2月23日の議員説明会で改築検討会(構造関係)の経過、意見とそのことを踏まえた今後の課題、進め方等について説明した。 ○3月17日に大迫中学校PTA会員に対し、議員説明会と同様の内容について説明会を開催した。 ○3月25日に同様の説明会を大迫地域住民の方に対し開催する予定。 ○平成26年度事業(現況、用地測量)は平成27年3月20日完了。 【今後の予定】 ・平成27年度 ※基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境整備設計等の設計関係を行う。 ※基本設計業務の早い段階(5月下旬から6月初旬予定)で今までの検討会、説明会等の意見を取り入れたある程度具体的な計画を再度市議会議員、学校関係者、地域住民に説明する。 ・平成28年度から平成29年度 ※校舎の建築。29年度に新校舎へ引越し予定。 ・平成30年度 ※体育館等の建築。 ・平成31年度 ※校庭等の整備。
269	H26.10.10	市政懇談会 (H26)	内川目	教育企画課	大迫高校存続について	(市からの説明のみ)	県立高等学校の在り方検討委員会は「今後の県立高等学校の在り方について」の報告書を取りまとめ、平成26年12月26日に岩手県教育委員会に報告(答申)した。 県教育委員会では、県立高等学校教育の在り方検討委員会からの報告を踏まえ、平成27年1月29日に「今後の高等学校教育の基本的方向」(改訂案)を取りまとめ、平成27年2月2日から3月3日までパブリック・コメントを実施するとともに、平成27年2月18日に岩手中部ブロックにおいて地域説明会を開催した。 市においても、小規模校の存続は地域にとって重要な課題としてとらえ、県教育委員会に対し、県立高等学校教育の在り方検討委員会での検討経緯を十分尊重し、3学級以下の高校が4割を超える現状を踏まえ、小規模校の必要性について十分な配慮が必要であるという記述をすべきという意見を平成27年2月28日に提出した。 大迫高校のように地域の特色ある学校は必要であるが、通う高校生がいなくなると存続できないので、通うようにお願いしたい。地域の皆さんと行政が一緒になって進んでいきたい。大迫高校の存続を求める関係団体の皆さんの熱心な活動をいただき、協力できることはしていく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
270	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域づくり課	コミュニティ支援職員について	コミュニティ会議について、基本的に今後どのように考えているのか。支援職員を配置してもらっているが、新堀地区コミュニティ会議では、自立できる状況になっているので、市職員は引き上げていただいてもいいと思っている。コミュニティで雇用している職員の人件費は、市職員と比較すれば約3分の1の経費である。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。 総合支所の機能強化や、コミュニティ会議と地域協議会のあり方について、関係団体と協議していく。
271	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域づくり課	振興センターの公用車使用について	振興センターに公用車を配置してもらっているが、コミュニティの職員は使用できない状況にある。公用車をコミュニティの職員が使えるようにする知恵がないか。なんとかしてもらいたい。	平成27年度から、コミュニティ会議が自ら行う地域づくり活動について振興センターの公用車を使用することができることとした。
272	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	農村林務課	松くい虫対策について	市と一緒に、地区のシンボル戸塚森について、色々事業を進めている。その戸塚森はもちろん、赤梅山ほか地区の松が松くい虫の被害にあっている。亀沼公園周辺も同様である。松くい虫の被害によって、景観のみならず危険な箇所もある。特に亀沼公園は運動広場としても使っているの、利用者に倒木による被害があっては大変だと思う。所有者任せではどうにもならないのではないかと。何年か前までは一生懸命対策を施していたと思う。亀沼公園(三日堀運動広場)は危険な状態にある。	三日堀運動広場の件については、本人へ説明済み。 戸塚森森林公園の松くい虫対策については、平成27年度に樹幹注入の事業を導入して防除する計画としている。
273	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	こども課	学童クラブ運営支援について	新堀学童クラブは市内で1、2番目に規模の小さい学童クラブである。市から年間375万円の委託料をもらっている。9月の条例で、児童の数にかかわらず指導員の配置は2名以上となっている。このようにすると、新堀学童クラブでは、委託料と保育料の全額を人件費に充てることになり、円滑な運営ができない状態になる。開所時間の延長支援事業が来年度始まるという話を聞いている。子供が健全に放課後活動できるように支援をお願いしたい。保育料を値上げすればという話もあるが、月額7,500円の負担は重いという保護者もいる。子育て支援や、女性の働く場の確保という国の政策と相まって、よろしくをお願いしたい。	9月に制定した条例では、学童クラブの指導員を概ね40人に2名としている。これは国の従うべき基準で40人に満たない場合も2名の配置が必要である。(1名は補助員可) 国の補助基準額の案が示されたところであり、小規模クラブについては、職員を複数配置するための加算が新たに設けられた。 保育料については、学童のガイドライン策定の中で減免のあり方を含めて検討しているところである。
274	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	地域づくり課	テレビ会議について	市長や各部長と直接話すということは、広報等で読むより非常に有意義だ。各振興センターにプロジェクターを設置して、テレビ会議をするというのはどうだろうか。検討してほしい。	テレビ会議については、本庁と総合支所等との間でシステム構築済みですが、27か所の振興センターでテレビ会議を行うことは、経費や利用頻度の関係から実現困難です。市民の方々との意見交換などは、市長と市民が直接対面し行うことが重要と考えていますので、従来通り、市政懇談会やまちづくり懇談会などを開催いたします。
275	H26.10.21	市政懇談会 (H26)	新堀	健康づくり課	保健フェスティバルの開催について	元気フェスティバルはよかったと思う。関連して提案だが、保健フェスティバルを開催してはどうか。医療費はどんどん嵩む。コミュニティで競い合って、健康維持にみんなで支えあって取り組む。健康診断受診率の向上が根底にあるが、結果的に医療費を抑えていければいいと思っている。	平成27年度の重点事業として、花巻市の重要な健康課題である脳卒中や糖尿病などの生活習慣病の予防事業をさらに展開することとし、市民全体に対する対策としては、各種健康相談、健康教室等の充実を図ります。 また、健診の要指導者に対して、個別指導を徹底し、重症化を予防し、適正受診を促がして、医療費の抑制も図ってまいります。 ご提案のイベント的な事業については考えておらず、健康課題を解決するための重点的な事業展開を進めてまいります。
276	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	東和総合支所 地域振興課	東和コミュニティセンターの建て替えについて	東和コミュニティセンターは、年数が経過したことから老朽化が目立ち、雨漏り、水道管の漏水、タイルの剥離等小破修理が目立ってきている。昇降機は故障し、修理を依頼するもかなり古いということで修理部品もなく利用ができない状態で、バリアフリーからほど遠い施設になっている。何より耐震構造になっていない。 東和地区のコミュニティ施設として多くの町民が利用しているが、高齢化が進み、3階の利用には難色を示している。については、このような現状に鑑み、東和コミュニティセンターの今後の方向性について、市の考えをお伺いしたい。 木造の2階建程度で、会議室と小ホールを兼ね備えた複合施設設置の考えがないものか。	平成27年1月29日土沢地域づくり会議と東和地域の市議会議員の方々と東和コミュニティセンターのあり方について懇談会を開催した。引き続き、施設利用者も含め懇談会を重ねていく予定である。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
277	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	博物館	ふるさと歴史資料館の存続について	ふるさと歴史資料館の存続のあり方が取りざたされ、話題になっているが、市としてどう対処していくのかお考えをお伺いしたい。	資料館の今後の活用を検討するため、東和地域の市議会議員、芸術文協会、教育振興運動実践協議会、地域協議会の各代表者及び東和の歴史と文化財を学ぶ会関係者と東和地域出身の県議会議員で構成する東和ふるさと歴史資料館検討委員会を、1月28日に第2回目の会議を開催した。 資料館の資料保管先などの課題を整理し引き続き協議することを確認した。
278	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	こども課	旧こども未来館について	こども未来館の利用状況はどうなっているのか。同館を利用したいという団体もある。	東和地域の小学校が統合して、学校敷地内に新たに学童クラブを設置したので、H22年度末で休止している。その後東和地域の地域子育て支援センターで月に数回活用していたが、警備上・防犯上の問題から、今年度から完全に休止している。 今後の活用についてはまだ検討を始めていない。皆さんからご意見を聞いて活用策を決めていくが、用途によっては補助金返還が生じるので、それも含めて検討する必要がある。
279	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	東和総合支所地域振興課	旧土沢小学校の今後の活用策について	現在は倉庫的な活用にとどまっているが、将来的にどう活用していくのか	地場企業の活用を検討中。なお、谷内振興センターの取壊し、建替え工事に伴い、物品の仮置き場として使用中。(12月22日～)
280	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	生涯学習交流課	土沢自治会館改修にかかる費用について	土沢自治会館の2階部分を土沢第3行政区の公民館として利用している。当地区の「一次避難所」にも指定しているが、避難訓練のたびに高齢者や身障者が2次災害にあわないように、固定式の避難階段を設置して欲しい旨の強い要望が出ていることから、整備経費について、給排水設備設置工事にかかる補助金以上の補助金の交付をお願いしたい。 2階に和室と調理室があるが、火災発生時は火元に向かって逃げなければならないので、和室のほうに避難階段を設置したい。設置には200万円弱かかるので、地元には重い負担である。	自治公民館は市内に280以上あり、それぞれの地域により実情が異なることは認識しているが、補助率や限度額の見直しを直ちに行うことは厳しいものと考えている。 県内各市の状況などを調査し、検討していくことも必要であると考えている。
281	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	都市政策課	都市計画道路の廃止に伴う用途地域の変更について	H24年2月に都市計画道路が廃止されたが、計画の廃止に伴う用途の解除が抜けていたのではないかと。相続税が多くかかるという問題がある。地権者が複数いるので、これは個別の問題ではない。 昨年秋の市政懇談会でも話をしたがその後どうなっているのか。 都市計画地域の住居地域になっているので、路線価ということで土地が評価された。実際の固定資産税の評価額が88円/㎡で、普通の相続税は倍率方式で東和町の場合は2.8倍となり約250円/㎡となるが、今回は路線価ということで13,000円/㎡、一反歩で1,300万円という評価になった。 道路がなくても住居地域になっているので、早急に解除してほしい。 この辺の農地は、実際に買うとすれば30～50万円くらい。ほかにも地権者はいるので、できるだけ急いで手続きしてほしい。	平成26年12月4日に、東和総合支所において、土沢第5区長や当事者の方々から改めてお話を伺ったうえで、都市計画用途の見直しの予定や固定資産税、相続税についてご説明し、地元の皆様へも伝えてもらうこととしました。
282	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	道路課	滴用水雑排水の土砂処理について	滴用水は、「用水」と「雑排水」を分離して流す機能的な構造であるが、今日では公共下水道が普及したこともあり、雑排水路のほうがあまり機能しない。大雨などで土砂が流れてくると、雑排水のほうが山側なので20cm～30cmの土砂が堆積している。 毎年、行政区の事業の一環として清掃作業を実施しているが、業者でないと完全に除去できないので、市で土砂処理をお願いしたい。(ふるさと歴史資料館南側のところ)	ふるさと歴史資料館南側の堆積土を3月20日までに除去。大雨の際はバトロールを実施対応します。
283	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	道路課	滴用水雑排水の掃除について	雑排水路全体を市で掃除してほしい。下水道利用者が増えて滴用水の雑排水を利用する世帯が少なくなったので、業者に清掃を委託するとき、一世帯にかかる負担が大きくなった。	例年、各地域で清掃を行って頂いており、今後も継続してお願いしたい。なお、地域で困難な場合は相談願いたい。
284	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	道路課 下水道課	農業用水への雑排水放流について	前郷の農業用水に雑用水を放流している業者がある。下流では農業用水として再利用しているので、雑用水を流さないように指導をお願いしたい。	具体的に下水道への接続を当該業者に説明して働きかけました。(26.12.18) 今後も早期に下水道に接続していただくよう働きかけてまいります。
285	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	契約管財課	教員住宅の管理について	六本木に市で管理する教員住宅と県で管理する教員住宅があるが、民間に譲渡または貸付できないものか。	市が管理する旧六本木教員住宅は、定住促進住宅として再活用します。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
286	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	都市政策課	空き家対策について	民家が家屋の老朽化や所有者不在で荒れている状態。環境面も気になるし、屋根が飛んできて危険なことも想定される。市では何か対策があるのか。また、盛岡市のように条例化することはできないのか。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
287	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	農政課 農村林務課	耕作放棄地対策について	農地も荒れ放題で環境面や防犯上から憂慮される状態である。市ではどのような対策を講じていくのか。	市としては、日本型直接支払制度の多面的機能支払交付金や中山間地域等支払交付金を活用して、集落の住民が一体となった遊休農地や耕作放棄地の発生防止のための保全管理の取り組みに対して、支援を行っている。
288	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	地域づくり課 市民生活総合相談センター	防犯灯の設置および管理について	防犯灯はコミュニティ会議で設置するようにということだが、土沢の場合は設置と電気代はコミュニティで、修繕費は自治会で負担することになっている。市が設置して修繕もできないのか。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。 防犯灯の設置等につきましては、各コミュニティ会議で地域の要望を取りまとめ、整備に取り組んでいただいているところであり、設置後の仕組みにつきましても土沢地区コミュニティ会議内でのご検討をお願いいたします。
289	H26.10.23	市政懇談会 (H26)	土沢	生活環境課	特定外来生物の駆除について	特定外来生物であるオオハングウソウの駆除について市ではホームページや広報紙で周知しているようだが、写真を見ただけではわからないので、勉強会などして教えてほしい。 地域の草刈りなどでは綺麗なのでわざわざ刈り残しているようで、市内の至る所で見られる。市では広報に掲載した後どのように現状を把握して取り組んでいるのか。	特定外来生物に関しては認知度が低いことから、ホームページ等で周知しています。 市内の状況は把握していませんが、在来の植生を守る対策として、近年、早池峰地域においてもオオハングンソウの生育が確認されていることから、ボランティアの協力をいただき駆除活動を実施しています。
290	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	農政課	農地中間管理機構の推移について	農地中間管理機構の推移についてお伺いする。	平成26年12月現在の農地中間管理機構を介した市内の農地の賃借状況は、農地の出し手から機構が借り入れた面積が、607ha、一方、機構から農地の受け手に貸し付けた面積が602haとなっている。 また、本年度の機構集積協力金の実績は、機構集積協力金が、交付対象地域7件で約1億1,460万円、経営転換協力金が、交付対象者174件で8,940万円、耕作者集積協力金が、交付対象者32件で約890万円となっている。 農地中間管理機構を介した農地の賃貸借は、今後も増えるものと見込んでおり、岩手県農業公社、花巻農業振興公社、花巻農協及び市農業員会と連携し農地の集積を進めていく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
291	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	農村林務課	農地・水環境事業の動向について	農地・水環境事業の動向について伺います。	従来の農地水保全管理の関係で、湯本地区についても環境保全組合という組織を作って取り組んでいただいているが、今年度から農政改革の中で「日本型直接支払」、「多面的機能支払」という制度に引き継いだ形となっている。 市全体では114組織で約10億円の交付がなされる予定。湯本地区は、総額約1億1,000万円で申請されており、最終的には3月に精算されるが、10月17日に中間払いとして7,400万円ほど湯本地区の環境保全組織に交付されている。 新たな農業政策の中で、こちら農地水環境から変わった「多面的機能支払」は地域ぐるみの活動に対する支援ということ。算定根拠は10アールあたりの面積単価で交付金が設定されているが、使途については地域で独自に考えた取り組みに使っていただくということで、全市もしくは全県、全国で同じような使い方をするというのではない。湯本地区の計画で大きい活動としては、現在素掘りになっている水路のコンクリート水路への更新などに活用したいと申請されていると伺った。これは今年度だけではなく、計画としては5年間継続することになっている。
292	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	道路課	土木施設要望について	土木施設要望の進め方について伺います。	市内全地区から地区単位ごとに厳選して提出していただいております、毎年花巻市内全域で400件～500件の要望が出されてる。これらの要望については全て現地を確認させていただき、危険度、交通量、住宅が接続している等勘案し、緊急度、優先度の高い順に市の予算あるいは国の補助金等を考慮しながら事業を進めている。 限られた予算枠で進めているが、老朽化した豊沢橋や太田橋の架け替えなど大型事業を継続して実施していることもあり、要望いただいた全てを実施することは難しいので、危険度や緊急度を考慮して事業を進めている。 農地水の事業で舗装を検討している地区もあるので、このことも踏まえて区長さんたちと話し合いをさせていただき、なるべく要望に応えていきたいと思う。
293	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	道路課	土木施設要望の優先順位について	今年度の統一要望で、下湯本のある箇所を優先順位1番で出したと聞いていたが、実際は3番目の北湯口の箇所が採択された。地元住民が期待していたので、変更したのであればそのように説明してほしい。	土木施設整備要望の優先順位3番目の箇所については、1、2番目より住宅戸数や利用度が多かったことから採択したものであります。
294	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	道路課	排水路整備について	湯本小学校校庭と幼稚園園庭の下を排水路が通っているが、草刈りをしたときに水があふれると排水路に全部詰まってしまう。今年も1回、腰あたりまで水かさが上がって、市や土地改良区に連絡したり地域の皆さんの協力で通子止めの看板を設置したりした。子どもたちの通学路なので非常に危険。 夏に、市で業者に頼んで調査した経緯があると聞いた。業者によると泥がだいぶ詰まっていて取り除くのも簡単でないし、水の向きを変えなければ解決できないのではとのこと。市と土地改良区で相談して水路変更するなり何か対策を考えて欲しい。	今年度は現地調査し、対策の比較検討を行いました。来年度は検討結果をもとに測量設計を行います。施工延長が長く事業費も膨大になることから、計画的な整備に努めて参ります。
295	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	道路課	太田橋の架け替え工事について	太田橋が2年以上も通行止めになっているが、なぜそんなにかかるのか。	橋の工事は工事期間が限られている。出水期の6月から10月頃までは、いつ大雨が降るかわからないので工事が出来ない状況。そのため工期が短くなるので一気に工事が進まない。 太田橋は雨による増水で橋脚が沈下したため、急遽通行止めにした経緯がある。改修は困難と判断し、事業計画を立て直して架け替えを選択した。川の水は半分ずつ止めて工事し、更に水が出ない時期にしか工事ができないのでなかなか思うように進まないが、出来るだけ通行止めの期間を短くするよう努力しているのでご理解いただきたい。
296	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	教育企画課	大学誘致について	なぜ花巻に大学を誘致しないのか。大学があれば、他県から色々な学生がきて、様々な面でフォローしてくれる。 単独の大学は難しいと思うので、花巻の産業にちなんだ学部・学科の誘致でもいいのではないか。	子どもを進学させるのはお金がかかって大変で、昔は全国から東京の大学に集まったが、最近は地元の大学に行く人が増えている。特に岩手県では子どもの数も減っているので、大学を呼びたい気持ちはあるが現実的には非常に厳しい状況。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
297	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	秘書政策課	地方創生について	地方創生本部に関する新聞を読んで感じたが、今は市の考え方が非常に問われる時代ではないかと思う。何をやりたいのか、何の目的で進むのか、指針を示すのは市であると思う。 進めば進むほど前のことを考えなければならない時代なので、中間発表でも問いかけでも、やっていくことによって市と住民との関係が近くなると思う。今後の方向付けを考えなければならない時代だと思う。	平成27年度において、花巻市版のまち・ひと・しごと総合戦略を策定いたします。 策定に際しましては、市民の皆様や議会、専門家のご意見をお聞きしながら進めてまいりますとともに、市職員も新たな国の動きを的確に情報収集してまいります。
298	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	農政課	農地中間管理機構について	農地中間管理機構の推移について、農家組合で2回ほど市の担当者等から説明をしていただいたが、農地を貸している方と現在自分で作っている、あるいは農作業委託をしている方に差があるようだ。自分で作っているとか農作業委託している方については今度の中間管理事業によって一旦管理公社に委託をすれば交付する。ただし今現在経営委託している人については一旦契約を解除して1年してからまた管理公社に委託しなければ交付金はもらえないという説明だった。これまで委託した人たちもこれから委託する人たちとなんら差がない。今現在委託契約している人たちが委託者と一旦契約を解除して農地管理公社に委託したという場合にも1年待たずして同じような取り扱いにしていいただければこの事業も大変進むのではないかと思う。国に対し今年度中に要望していただきたい。	経営転換協力金の要件について誤解があったので、正しい要件について本人へ説明済み。
299	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	都市政策課	新花巻への新幹線の停車について	人口対策で企業誘致の話があったが、(東京から)青森まで新幹線で3時間で行くというが、これを花巻に置き換え、青森に行く電車が新花巻に停まってもらえば2時間で東京を往復できることになる。そうすると企業誘致した会社の社員の皆さんがいろいろな事業で本社に行くという条件も整う。 加えれば、再来年は岩手国体だし、花巻のクレイ射撃協会では東京オリンピックの時にはクレイ射撃の誘致に手をあげたいが、それらの関係上、新花巻駅に2時間で停まれる電車をJRに強烈に要望していただき	新花巻駅の乗降客は東北新幹線の中で、沼宮内に次いで2番目に少なく、乗降客が増えないことには難しい状況です。 (平成27年2月27日のIOC理事会において、東京オリンピックにおけるクレイ射撃の花巻誘致は無くなりました。)
300	H26.11.4	市政懇談会 (H26)	湯本	商工労政課	企業誘致と助成制度について	企業誘致で企業に対する優遇税制だけでは、東北地方で企業に対するインパクトが少ないと思う。企業誘致してから例えば5年間等一定の期間の助成制度を作るような制度を作ってみてはどうか。僻地に対する企業の誘致がされるような制度を創設していただけたらいい。	国では地方創生の一環として3大都市圏等人口集中地域に所在する本社機能を地方に移転する企業に対し、法人税の税負担の軽減などの優遇措置を講じる方向ですが、引き続きより効果的な誘導策が講じられるよう働きかけていきます。 また、市独自の助成制度についても企業ニーズの把握に努めながら効果的な制度の創設について検討していきます。 【平成27年3月末完了】
301	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	農村林務課	松くい虫被害について	松くい虫の被害が拡大しており、特に市道沿いでは倒木すると交通に危険となる箇所、あるいは被害が及びそうな箇所多々がある。今後市としてどのように対応するのか。	これまで花巻地域が岩手県の北限であったが、今では八幡平にまで進んだ。県は北上する被害を阻止するために予算が使われるので、花巻の分には予算がつきにくい。 市としては、市民の命や生活に大きく関わる部分については対応することとし、単独の予算を1,400万円ほど計上している。 原則として、私有地については所有者の管理・伐採をお願いしたい。市道や電線にかかるなどライフラインに関係する場合などは相談しながら対応したい。 大迫地域はまだ境界だが、旧花巻・石鳥谷・東和は境界でなくなったため、来年度以降は国からあまり予算がこない。県市長会では松くい虫対策をもっとやってくれるよう国に申し入れている。 バイオマス発電所を花巻に立地協定を締結したが、バイオマス発電には松くい虫の木も使える。松くい虫の木の供給の採算性はまだ分からない部分もあるが、今まで放置していた木の伐採が進むのではないかと期待する。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
302	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	農村林務課	国有林の管理について	東和でも標高200m以上で残っているのはほぼ国有林である。市の問題というよりは国の財産をどうするかという観点で考えてほしい。	遠野支署 仙北谷署長より 遠野支署管内の国有林のマツクイ虫被害木については、基本的に全木処理しています。 H26年度花巻市管内では田瀬ダム周辺で555㎡の688本、ご指摘のありました石鳩岡付近では平山の部分林にて2㎡の10本の処理を実施しました。また、この秋の調査においては田瀬ダム周辺で570㎡の1,050本の被害木を確認していますのでH27年度春の処理を計画しています。国有林においては日頃の巡視を行い、被害木の把握を行い、速やかに調査、その後上局に上申して予算を確保、入札を行い作業者が決まり、薬剤処理する流れとなっています。 なお、花巻市管内を管轄する事務所(遠野支署の下部組織)は花巻市大追町大追第4地割29－4に大追事務所(0198－48－3215)がありますので被害木の確認等の際は問い合わせ願います。
303	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	農村林務課	松くい虫による枯損木の処理について	松くい虫の処理は実際いつやるのか、やるのかやらないのか。ピンクのテープを巻いているのは何のためなのか。	ピンクのテープは、松くい虫にり患したもので調査済みであるという印。ほとんどん被害が進んできており、それらを全部処理するのは不可能である。 私有地の個人で対応できるものはなるべく個人でやってほしい。また、ある程度の組織体でやる場合事業には支援しているので、地域の皆さんで相談してほしい。 未然の防止として、樹幹注入の補助もあるので活用してほしい。
304	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	総務課	総合支所の充実について	市長就任以来「総合支所の充実」と語っておられるが、どのように進められているのか。	総合支所は、本庁で企画され施策事業の執行機関であり、地域づくりに関する施策事業の企画立案・執行機関と位置づけられるが、合併以降、これまでのあり方を検証し支所の担うべき機能を整理し、平成27年度から、総合支所に管内施設(土木含む)管理、第3セクター支援、地域固有の課題解決を本庁から移管し、総合支所を生涯学習の拠点と位置づけた取り組みを行い、機能強化を図っていきます。
305	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	地域づくり課	振興センターの役割について	振興センターの役割についてどのようにお考えなのか。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
306	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	地域づくり課	振興センターの非常勤職員について	非常勤職員を地域で雇用した場合は、その方々が地域の課題を解決するための手法などを学ぶ場がないと、急に任せられても大変だと思う。研修や学ぶ仕組みは行政で責任をもって作ってほしい。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。 今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
307	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	こども課	小山田保育園の保育体制について	小山田保育園の今後の保育体制はどうか。現在、正職員が2人しかいないが、園長は出張なども多く、普段は正職員のいない状況で保育している。0歳児保育までやっっていながら、非常にぜい弱な体制だと思う。正職員がいない時間に、保育園で事故があった場合を非常に懸念している。	小山田保育園は7人の職員のうち5人が臨時職員。花巻市全体でも55%が非常勤または臨時職員という状況。以前に市では、公立保育所の再編計画を作成したが、再編が進まないまま職員採用をしなかったために、職員が少ない状態になっている。 非常勤・臨時職員であっても職員研修を行っているほか、通勤手当の支給や賃金改定をするなど処遇の見直しも行っている。H25年度以降は計画的に正職員を増やし、園の体制整備をしている。来年度4月から新しい子ども・子育て支援制度が始まる。新制度に移行して少し落ち着いてから、保育所再編について市全体をどうするかの方針を立てていく。 職員の数は園児数にも関係するが、発達に課題があり支援の必要な子どもが何人かいる場合は、職員体制を強化している。 計画的に職員は増やしているが、子どもの数が減っているなので、職員を急激に増やすことは難しい。今後は法人化も検討する必要があるが、まずは内容を検証しなければならない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
308	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	財政課	市の財政状況について	「合併算定替え」を見据え、10年間の市財政の見通しについてお聞きしたい。	H25年度の決算で言うと、歳入総額476億円のうち交付税は166億円、全体の35%を占める貴重な財源です。算定替えは合併後10年経過すると普通交付税の特例措置が少しずつ削減されるという制度で、H27年度までは今の状態が続くが、H28年度から5年間かけて少しずつ減り、終了することになっています。市としては、歳入に見合った財政規模を考慮しつつ、必要な事業は適切に取り組んでいく必要があります。そのため、歳入では、市税の収納率を上げることや自主財源の確保に努めるほか、歳出では、事務事業の再編や経常経費の削減に努めています。また、定数管理に基づき職員数の削減や民間委託など行政改革にも取り組むことで、平成27年度の予算においては、市政懇談会をはじめ、市民の皆さんからのご提言等も参考にして、人口減少対策などの重点戦略に可能な限り事業を盛り込み、市民生活の安定に直結する施策充実にも配慮した予算を編成しました。H35年までの総合計画だが厳しい財政状況であることは間違いなく、今後も国や県からの補助金の活用、また、交付税措置の手厚い地方債の導入など健全な財政運営に努めていきます。交付税措置については、最初23億円くらい減るという報告を受けていたが、全国市長会等の要望を受け、国では平成26年度以降5年程度の期間で、支所に要する経費を加算するなど、合併後に生じた財政需要を交付税算定に反映するよう各種の見直しを予定しており、期限後も上乘せ額の7割程度を配分する方向で検討が進められています。市ではこの取り組みを注視しつつ、必要な財政措置については機会をとらえて国に対し要望してまいります。
309	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	農村林務課	シカの被害について	シカの被害が非常に多く、震災前より3倍近く増えたそうだ。ハンターも高齢化しており、市やJAの対策だけでは追いつかない。新たなハンターを探すのも難しいと思うので、自衛隊や警察官にも駆除をお願いするなど、市町村単位でなく広域的に考えていただきたい。	県では広域的な取り組みを検討しているので、推移を見ながら積極的にかかわっていきたい。
310	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	教育企画課	大迫高校の生徒数について	大迫高校の生徒数と地域別出身地はどうなっているか。	県立高等学校の在り方検討委員会は「今後の県立高等学校の在り方について」の報告書を取りまとめ、平成26年12月26日に岩手県教育委員会に報告(答申)した。 県教育委員会では、県立高等学校教育の在り方検討委員会からの報告を踏まえ、平成27年1月29日に「今後の高等学校教育の基本的方向」(改訂案)を取りまとめ、平成27年2月2日から3月3日までパブリック・コメントを実施するとともに、平成27年2月18日に岩手中部ブロックにおいて地域説明会を開催した。 市においても、小規模校の存続は地域にとって重要な課題としてとらえ、県教育委員会に対し、県立高等学校教育の在り方検討委員会での検討経緯を十分尊重し、3学級以下の高校が4割を超える現状を踏まえ、小規模校の必要性について十分な配慮が必要であるという記述をすべきという意見を平成27年2月28日に提出した。 大迫という広い地域から高校がなくなったときの影響は、小学校・中学校の統合より大きい。子どもたちが高校に通う権利を考えても、大迫高校は必要と考える。 県はスクールバスを出せばいいのではと言うが、岳から八木巻までまっすぐに行けないのが現状で、いったん大迫まで戻っていたら、花巻の高校にたどり着くまで2時間もかかる。これはスクールバスを運行するしないの問題ではない。とはいっても、通う子がいないと言われればどうしようもない。高校がなくなるかもしれないという噂が出ていると思うので、なくなるかもしれない高校には入りたくないという子どもも多いと思う。私たちは、「高校はなくなるらない、なくなるないように努力している」というメッセージを出し続けるのが大事だし、地域の人たちとも協力する必要がある。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
311	H26.11.17	市政懇談会 (H26)	小山田	道路課 東和総合支所地 域振興課	除雪のお願い	前畑線の除雪をお願いしたい。	2戸の住宅があるが、幅員3mと狭小のため除雪車が入れず除雪しておりませんでしたが、除雪可能な機械を有する市道除雪受託者が除雪することとしました。
312	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	都市政策課	空き家対策について	空き家が増えているが、市ではどのような方策を考えているか。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も市内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
313	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	商工労政課	働く場の確保について	働く場の確保についてどのように考えているか。	働く場の確保について、地場産業含め支援をしている。企業誘致については、バイオマス発電会社を誘致し立地協定を結んだ。IT産業を興したいという人がいるので、市として支援したい。新卒者が花巻で働ける環境を作っていきたい。誘致企業が立地する団地について花巻市は人気があるが、工業団地の土地が残っていないのが現状である。新しい工業団地については、コンサルに調査を委託している。
314	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	農村林務課	森林政策について	市の林業促進施策についてどのように考えているか。	木材については、北上市に合板会社(プライウッド)ができる。内陸(北上市)に立地するのは南洋材は資源がなくなってきており、ロシア材は中国に流れ、北米材はコストが高くなっているなど、輸入材ではなく国産材で勝負できる状況になったからである。住宅材は売れており、程度の悪い材木はプライウッドで加工し、さらに悪いのはバイオマス発電に利用するようにと考えている。バイオマス発電には松枯れ病の松も使える。問題は東北電力で再生可能エネルギーの受入を停止していることだが、バイオマス発電について停止エネルギーから除外するよう、東北電力にお願いをしている。材の供給については、素流協(ノースジャパン素材流通協同組合)及び森林組合などに働きかけている。市では森林政策全般については森林計画に基づいて進めていくように指示している。
315	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	地域づくり課	コミュニティ会議の運営について	コミュニティ会議の運営について、最終的にNPO化していかないと持たないのではないかと、当局に話したことがある。やり方はいろいろあると思うが、地域住民が自ら考えて運営していくスタンスを取っていくべきではないかと思う。	平成27年度に振興センターに非常勤職員を配置することとしたほか、地域づくり交付金の使途について一部見直しすることとしたところである。今後も引き続き、振興センター、コミュニティ会議、地域づくり交付金の課題等について、コミュニティ会議や有識者等の意見を聞きながら方向性について検討していく。
316	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	商工労政課	ナノテクノロジーの導入について	国では、イノベーション対策や科学技術戦略を展開している。なかでもナノテクノロジーの導入について、久保田(酒造)もナノ水を使用して人気を博しているという。ナノテクの活用について積極的に検討すべきではないか。	ナノテクノロジーを市が進めていけば良いのかという意見だが、市町村が単独でできるものではない。市は岩手大学、県立大学や富士大学など大学と連携を進めている。岩手大学については二枚橋にサテライトオフィスを開設している。(ナノテクの活用については)大学関係者あるいは専門家の意見を聞きながら、情報収集していく。
317	H26.11.19	市政懇談会 (H26)	八日市	農政課	農林事業の情報提供について	農林水産省では事業メニューがたくさんあるが、こうした事業の内容について市では市民に知らせていないのではないか。	農業者を対象とした各種研修会や農協の座談会等で情報提供を実施しているが、今後、市民向けの説明資料を作成するなどし、わかりやすい周知に努めていく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
318	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	都市政策課	空き家対策について①	2010年に所沢市で空き家対策の条例が制定され、全国各地でブームになって、去年までに全国で約300近い都市で条例が制定された。問題は、国がどういう動きをするかだが、花巻市はこれから具体的に条例化、法対策をするのか。	平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。
319	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	都市政策課	空き家対策について②	四日町2丁目には空き家が数十%あるが、全国でも5,700万戸中757万戸が空き家になっているとの数字が出ている。これも制度化することにより強制力のある空き家対策になるのではないか。 先日、花巻市では家屋調査を行ったが、この調査により空き家がどの程度あったのか具体的な数字まで把握されたのかどうか。制度化を含めて花巻市は具体的な対応を考えているのか。	各行政区長等から情報提供を受けて調査した市内の空き家件数は、3月末までに374件です。そのうち、建物や環境が著しく不良なものが53件、建物や環境が不良なものが101件、特に問題ないものが210件となっています。 また、建物所有者の所在が判明している物件273件について「建物等管理のお願い」文書を送付した結果、27件が除去され、1件が除却準備中です。 また、平成27年2月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に併せて、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的指針も示されたことから、今後も庁内の関係部局と連携を図りながら、平成27年5月に示されるガイドラインの内容を見極めるとともに、他市の対応状況等も勘案しながら、法律の実効性の検証や、空家等対策計画の策定、協議会の設置、支援策等について、対応してまいります。 なお、人命に関わる等の緊急を要する場合は、消防本部又は都市政策課までご連絡ください。 固定資産税については、特定空家等に指定された場合、その建物を壊しても壊さなくても、平成28年度課税分から住宅用地の軽減(1/3,1/6)が無くなることになりましたので、空き家解体が促進されると思われます。 また、平成27年度から空き家バンク制度の導入を図り、登録された空き家を市外からの移住者用住宅として紹介してまいります。
320	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	商工労政課 道路課	シャッター通り問題について	四日町あるいは一日市にはシャッターを下ろした商店が目立つようになってきたが、一日市のアーケード街はかなり老朽化してきたが、これを維持しながらまたは取り壊し歩道を整備して街の活性化を図りたい、シャッター通りをもとに戻したいと具体的に動いている。 そこで、要望・お願いとなるが、一日市だけでなく坂本町から四日町3丁目までの県道沿いの歩道に雪を解かす装置を付けていただき、老人や子供たちが冬でも安全に歩けるような歩道ができれば、シャッター通りの活性化を図ることができるのではと考えており、お願いしたい。	県道花巻停車場線の歩道の融雪施設については、交通量調査を踏まえ、その対応について検討し、県の花巻土木センターに要望します。
321	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	ゲリラ豪雨対策(洪水、落雷、竜巻等を含む)と花北地区防災マップ危険地域の対応	花北地区防災マップを2年前に作成し各地区に配布している。桜台、星が丘を除いた地域がきれいな色で塗られているが、ここが非常に危険な箇所である。特に北上川が洪水になった場合に危ない地域であり、ほとんどの地域がここに入っている状態。集中豪雨、ゲリラ豪雨が頻繁に発生しているので、こういう場合の対処法を伺いたい。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としております。
322	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	後川の排水施設能力と積算雨量との関係(限度を超える雨量があったときの対処法)	今年は雨による災害はほとんどなかったが、後川と北上川の合流地点にある国が作った排水施設には毎秒10㎥との排水能力があると書いてあるが、実際はどの程度の時間の雨量に耐えうるものか、洪水が発生することはないのか説明いただきたい。	市ホームページ上の防災マップを更新し、土砂災害警戒区域指定箇所を表示しております。また、平成27年度に、地区別のハザードマップを全世帯に配布する予定としております。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
323	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	10月13日に発令されたエリアメール、災害避難準備情報の結果	今年10月13日に市から発令されたエリアメールについて、台風19号による避難準備情報が出された。これは全域に出されたものと思うが、実際その結果、各避難所の状況と結果についてお聞きしたい。 エリアメールは全域にだすのはおかしい、ピンポイントでこの地域が危ないとか具体的にエリアメールをいれてもらえれば良かったと思っている。	10月13日に発令したエリアメール、避難準備情報の結果について、市内27か所に発令と同時に避難所を開設したが、3か所の避難所、まなび学園、矢沢振興センター、成島振興センターで4名の方が避難し、一晚過ごした。どなたも高齢の女性であり、花巻市では夜間から明朝にかけて台風が接近、通り過ぎるとの情報でしたので、早めに夜のうちから避難準備情報を出して避難所を開設した。 情報をピンポイントで出すべきだというのはその通りだが、技術的に難しいと思う。今回の避難準備情報は、真っ先に出したのが花巻、遠野、陸前高田。そのあと釜石と大槌町が発令したが、どこでも全域に情報を出している。仙台なども全域で出している。ただ神奈川県平塚市は20戸くらいを対象に避難勧告を出している。これが花巻市で出来るかは今後研究していかなければならないが、すぐにできるものではないと思う。
324	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	防災ラジオの試験電波訓練による地域の活用法(設置場所、一人暮らしの高齢者への配布)	10月13日に防災ラジオの試験電波訓練が行われたが、非常に良いアイデアだったと思う。明瞭に聞こえ、またスイッチも自動で入り非常に役立つシステムだと思う。各地区に2台程度置かれているが、活用する場合、具体的にどのような場所で使ったらいいか、また一人暮らしの高齢者に配布していただければいいと思っている。	土砂災害警戒区域等の指定を受けた湯口・湯本地区にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対して、1台防災ラジオの無料貸し出しを行っております。(H27.2月～3月 湯本・湯口振興センター等にて実施済み)また、今後土砂災害危険箇所にお住まい(または、事業所を有する。)の方に対しても、無料貸し出しを行ってまいります。 H27.2に花巻市避難勧告等発令・伝達マニュアルを見直し、災害時の情報伝達方法を具体的に定めております。
325	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	地区防災組織と市との情報提供と継続的な訓練(組織率とこれからの市との訓練情報)	自主防災組織について、当地区では毎月11日を防災の日とし、携帯の防災無線の訓練を行っている。今年6月から始めたが、慣れてきたし、いざという時に役立つと思う。そこで、自主防災組織が花巻市ではどのくらいの率で設立されているのか、その意識が高まったことによって、訓練状況等これからどうやっていくのかお聞きしたい。	自主防災組織等リーダー研修会において、災害図上訓練を実施し、災害時における活動や、対策など防災体制の構築について検討いただきました。また、避難勧告の基準や情報伝達等についても研修の中で説明させていただき周知を図ってまいりました。 (リーダー研修会：H27.2.17～H27.3.23実施済み)また、市内4か所において、地域の災害特性に応じた訓練を予定しております。
326	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	地域福祉課	地域福祉における行政、コミ会議及び福祉医療事業者との連携について	社会福祉協議会では、機会ある度に地域福祉の課題を「地区コミュニティ会議と連携して」と話されているが、現実には目を向けると地域福祉懇談会の参加者が少なく、行政区長や自治会長を除けば、民生委員だけが目につく。 それを見ると、住民を含めた皆さんの意識のなかに、「福祉のテーマは民生児童委員のもの」と思い違いをされているのではないかと思い、なかなか厳しいものと感じる。 地域では、民生児童委員の訪問活動、行政としての取り組み、看護ステーションの訪問、介護事業所における支援等さまざまな福祉施策が行われているが、それらの連携は一本化されていないと思う。地域の総合的な見守りという観点から、こうした関係者間で情報の共有化を図れないものか。 地域福祉について、みんなで考えて、話し合い、協力が大事である事を住民に広めるためにはコミュニティ会議の力は大きいと思う。そのために、行政サイドから関係者各方面への働きかけを検討してもらうことが、より良い地域福祉に結び付くと思うが、花巻市としてはどう考えているか。	民生委員児童委員は市内で246名(実員245名)おり、地域の身近な相談役として、援護が必要な方への訪問・相談活動を行っていただいております。また、民生委員児童委員の活動を補完し、重層的な見守りの取り組みを推進するため、在宅介護者等訪問相談員による訪問、一人暮らし高齢者等訪問相談員による訪問、民間事業者との連携による訪問活動等を併せて行っております。H26年度の訪問実績の見込みは、民生委員児童委員相談受付件数が10,200件、在宅介護者等訪問相談事業や一人暮らし高齢者等訪問相談事業として合わせて4,000回程度を見込んでおります。また、民間事業者にも異常等を発見した際は通報をお願いしており、現在まで4件の通報をいただいております。 関係者間での連携という面では、各分野の個別のケースにおいては、関係機関が情報を共有し、一体的な支援を行っておりますが、日常の見守りという点では、十分とは言えないと考えております。見守りについては、今後ますます必要なことと認識しており、災害時の要援護者の支援についても隣近所の方々にお手伝いいただく仕組みにしていきたいと考えております。 また、第6期介護保険事業計画においても、要支援1・2の方々について、これからは地域の方々に支えていくように制度が変わり、地域内での見守りの仕組みづくり等がますます必要となることから、今後地域に入り、話し合いを進めてまいりたいと考えております。 コミュニティ会議の力をお借りするという点については、役員の方にこれ以上お願いできるかという問題はありますが、各々の地域の中で望ましい地域づくりに、より一層のご協力をお願いしたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	年度末の状況
327	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	長寿福祉課	高齢者福祉タクシー券について	「使い切れなくて期限切れになった」という声もあるが、使い残しで期限切れになってしまう件数(枚数)は花巻市内でどれ位あるのか、申請交付された利用率状況などを教えてほしい。 また、「タクシー会社によっては、本人が乗ってなくてもいいと言うので使った」という人がいて、「花巻市の決まりに沿って使用するように」と応じた。 例えば、歩くのが難儀な人の家族が新幹線などで遠くから来た時に、タクシーを使って用足しをし、タクシー会社(乗務員)が事情を察して「タクシー助成券を使える」と言ったのかもしれないが、「ズルをやっている」と取られかねない。花巻市の事業として、せっかくのタクシー券なので、正々堂々と使えるように幅を持たせていただきたい。	平成26年度の実績は、交付人数1,290人、交付枚数28,846枚、利用枚数22,320枚で、77.38%の利用率を見込んでおり、年々利用者数が増加しています。(H25年度実績:交付人数1,216人、交付枚数27,192枚、利用枚数21,501枚、利用率79.07%) ひとり暮らし高齢者の方々等の社会参加の促進を図るための事業として実施しており、利用者の方々には買い物や通院など有効に利用いただいておりますが、今後、制度の趣旨に照らして、対象要件などについて改正すべきと判断した場合には検討していきたいと考えています。
328	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	地域づくり課	税金の使い方に市長のチェックを	市民の血税を無駄にするようなまん福問題のようなことを二度と起こさないように、市長自らのチェックをお願いします。	一人で全部できるか自信はないが、チェックするようにがんばる。 市の上層部の判断に間違いがないようにしたい。
329	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	都市政策課	都市計画道路について	都市計画道路として計画されていた道路が駅から花巻神社までのところでストップしている。都市計画道路から外れたという話はあったが、それ以来何も説明がない。	今年度、長年手つかずの路線について見直しをかけ、当該路線につきましても、都市計画道路の廃止をしました(6月17日にまなび学園で市民説明会を開催。7月7日に都市計画審議会に諮り決定。)が、今後全く手をかけないというわけではなく、生活道路として整備をしてまいります。 また、市民への説明や周知方法につきましては、改善に努めてまいります。
330	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	防災危機管理課	災害時の対応について	花巻は岩手県を中心であるが、3.11の時に花巻市の姿は見えなかった。遠野市が中心になっていたように思う。本来は、空港も新幹線駅も持つ花巻市は県を中心になるべきではなかったか。今後どのように考えているのか。	遠野市長とは、県が指示するのではなく都市間で連携する必要があるという話をしている。花巻が県を中心になるかどうかは県が決めることだが、我々は、いざという時に釜石や大槌を支援していくことが大事だと考えているので、その体制を作っていきたい。
331	H26.11.21	市政懇談会 (H26)	花北	農村林務課	バイオマス発電について	森林は燃料として使うまでに30年もかかる。これまで再三花巻市に誘致工場が企業がきたが、固定資産税を払えず帰ってしまう。そういう状況は繰り返されないのか。	おっしゃる通り心配は完全になくならない。 県内では低級材の需要が多く、バイオマス発電所の木材は取り合いになっている。今回は、県の森林組合などをお願いしてある程度目途はついている。松くい虫の木も使うという前提で進出が決まった。